

地区別の特性・施策実施状況

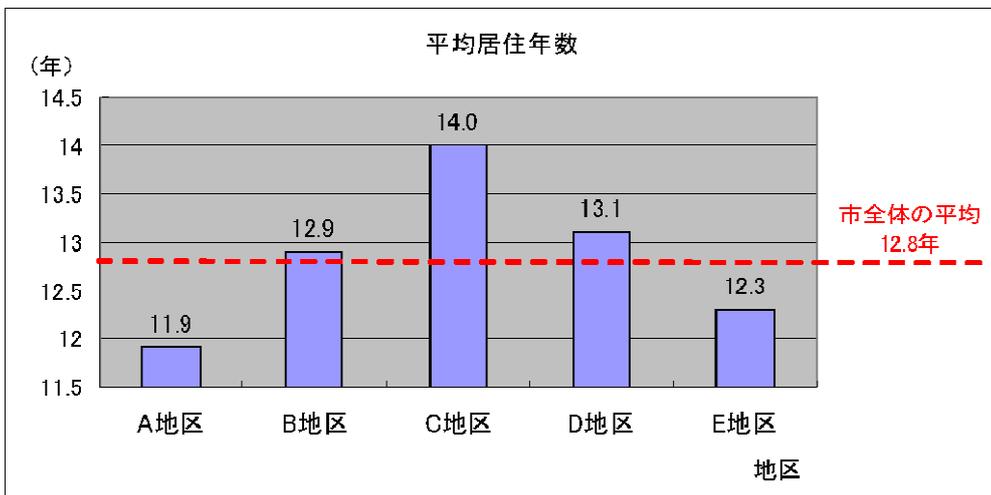
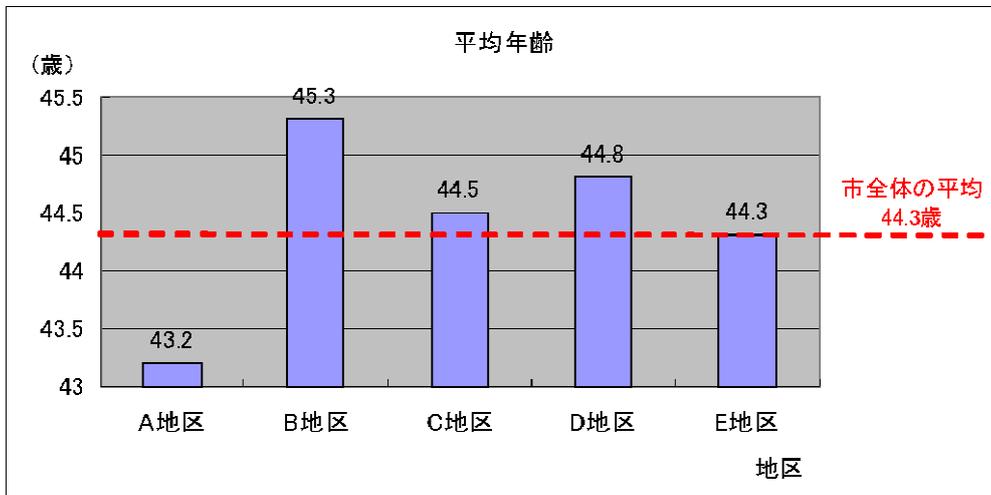
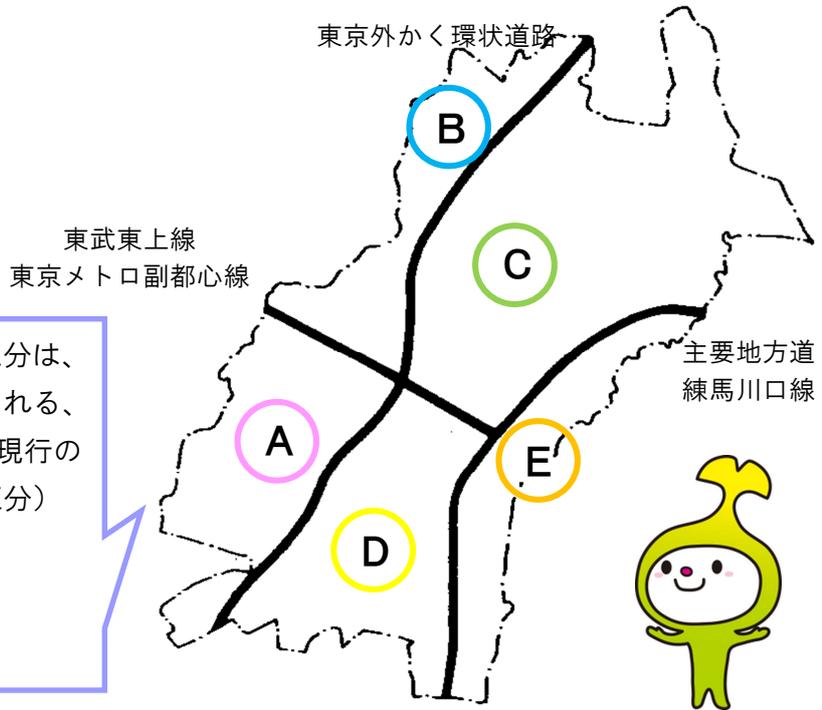
1	アンケート結果のまとめ（各地区の比較）	1
2	地区別の現況・課題	9
3	地区別の施策実施状況	19
	【参考】地区別のアンケート集計結果	30

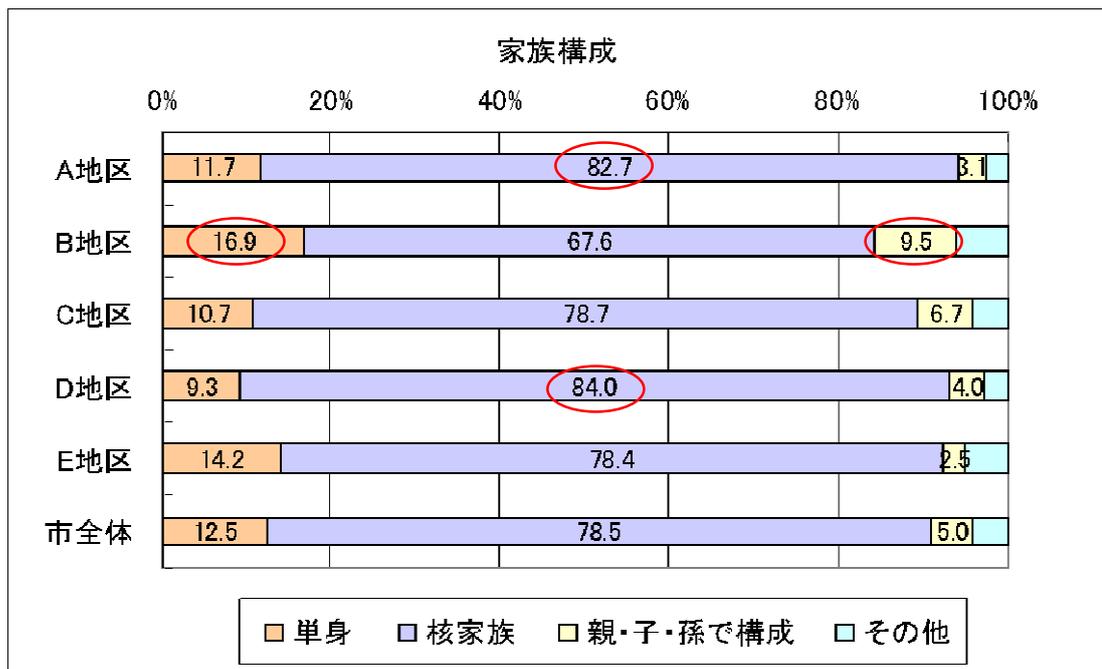
1 アンケート結果のまとめ（各地区の比較）

1) アンケート回答者の属性



◇地区別集計における地区の区分は、鉄道及び主要な道路で区分される、右図のA～E地区の5地区（現行の都市計画マスタープランの区分）





2) 満足度・不満足度（居住している場の周辺環境）について

- A、D地区は、市全体と比較して満足度が高く、不満足度が低い傾向。

【満足度が高い項目】

- ・ A地区：交通の便⇒通勤通学の便⇒公園・緑地⇒自然環境
- ・ D地区：公園・緑地⇒交通の便⇒自然環境⇒通勤・通学の便

（左から満足度の高い順に列挙）

- B、C、E地区は、市全体と比較して満足度が低く、不満足度が高い傾向。

【不満足度が高い項目】

- ・ B、C地区：道路の整備状況の改善⇒買い物の便の向上
- ・ E地区：買い物の便の向上⇒医療施設の充実

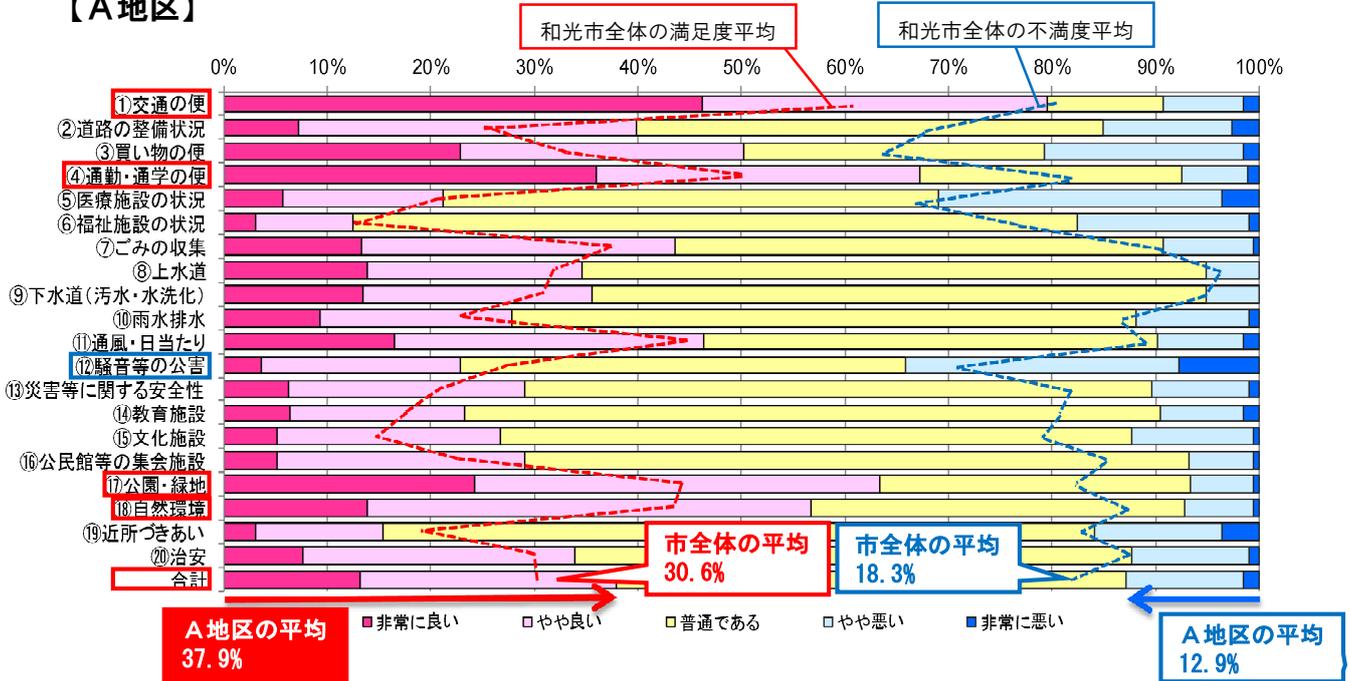
（左から満足度の高い順に列挙）

不満足度（※各地区の不満足度の上位一位・二位を記載）

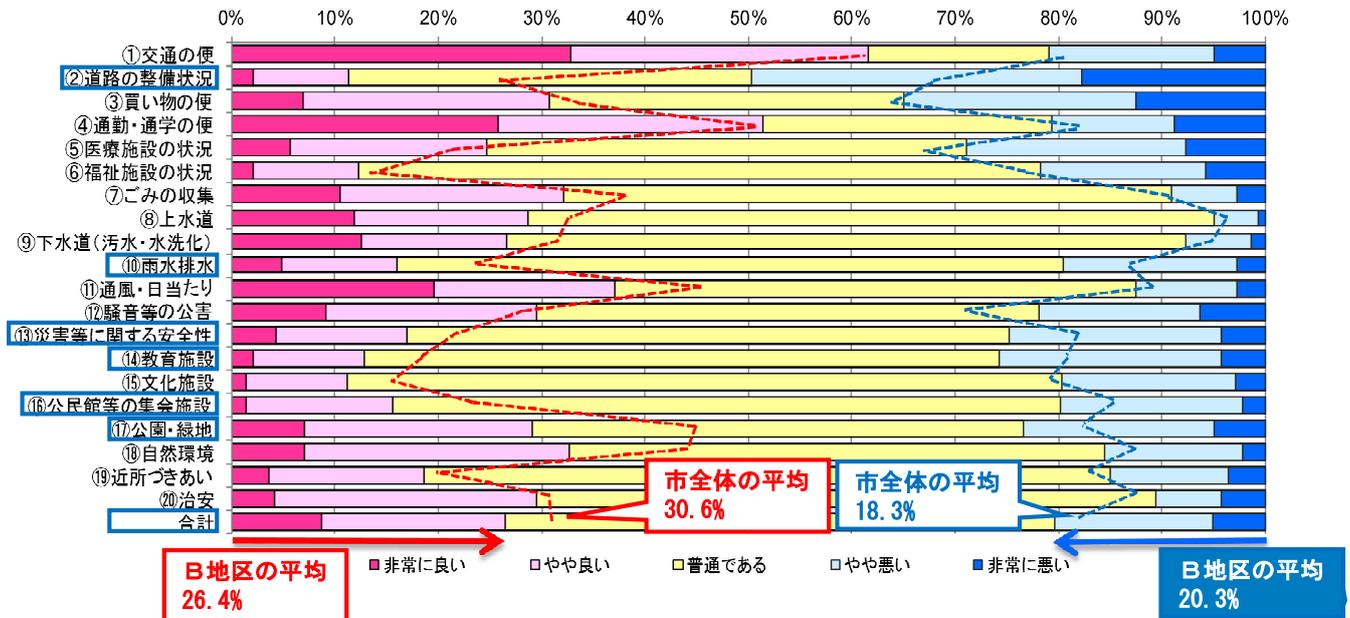
地区名	地区別不満足度から見た、市に求められているもの
A地区	『騒音等公害に対する対策』、『医療施設の充実』
B地区	『道路の整備状況の改善』、『買い物の便の向上』
C地区	
D地区	『買い物の便の向上』、『騒音等公害に対する対策』
E地区	『買い物の便の向上』、『医療施設の充実』

地区別の満足度、不満度

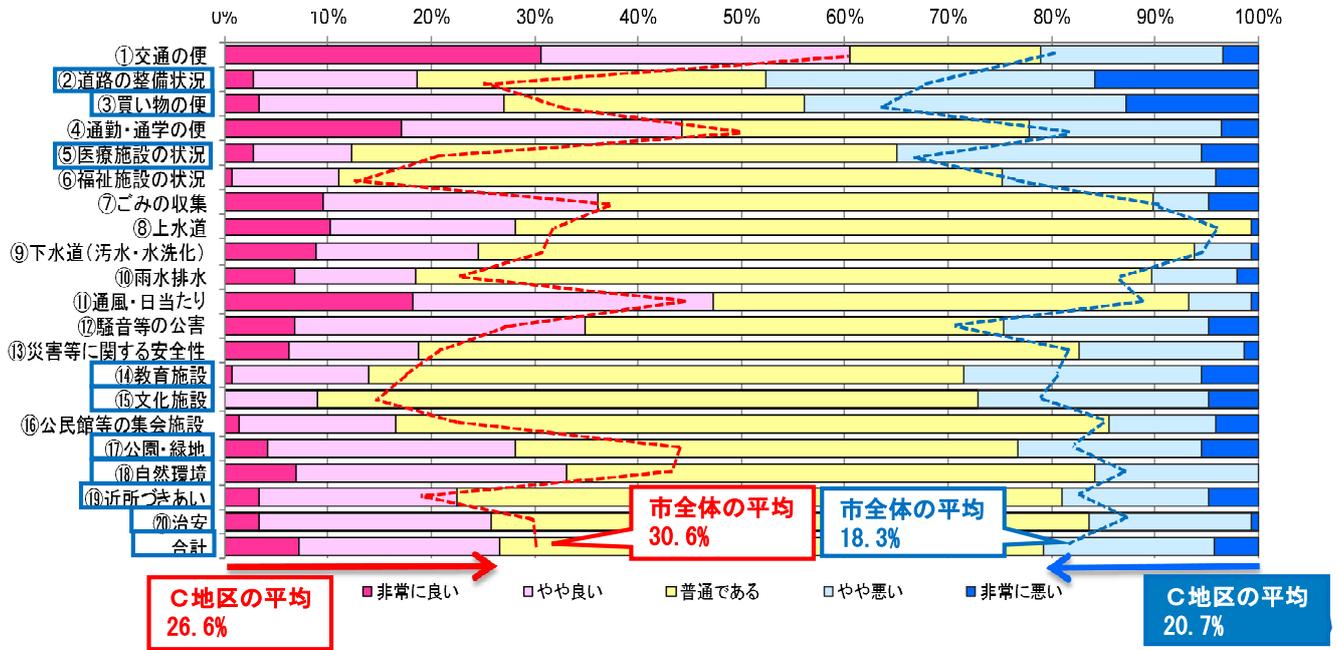
【A地区】



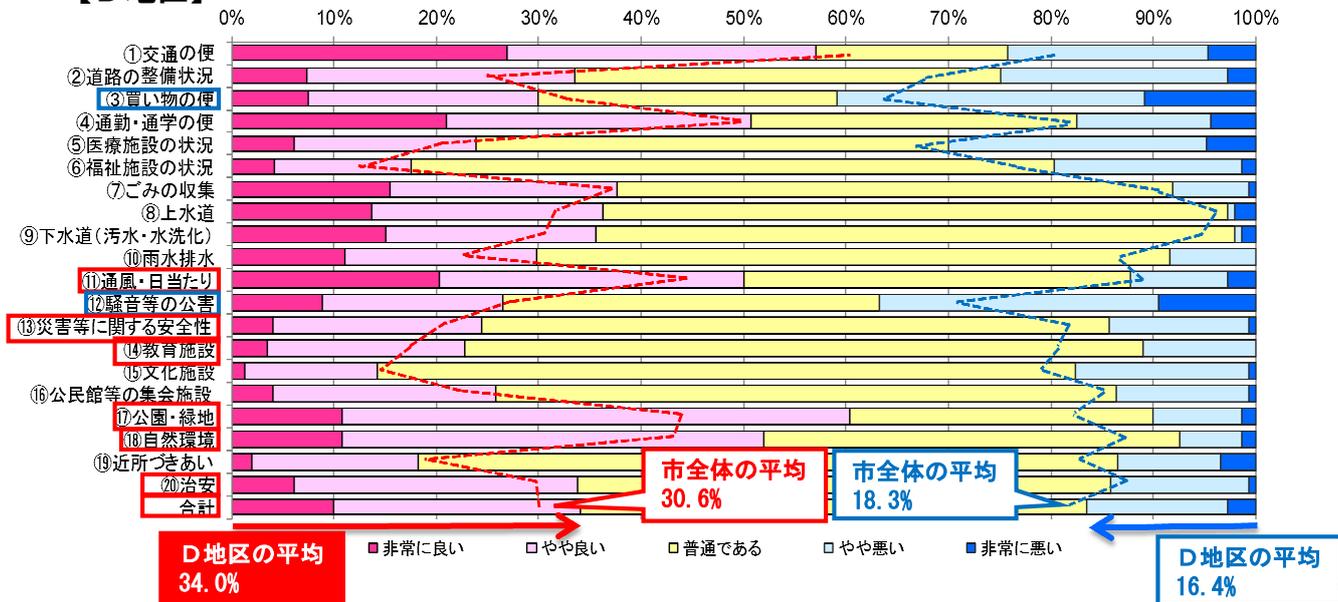
【B地区】



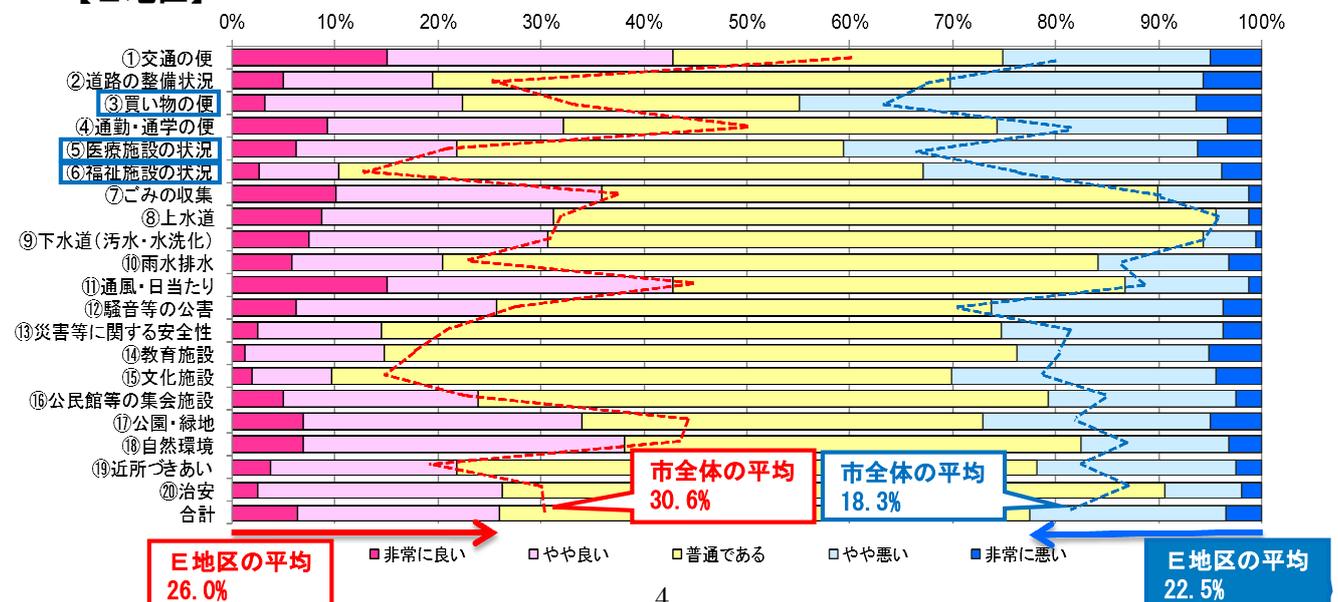
【C地区】



【D地区】



【E地区】



3) 居留意向について

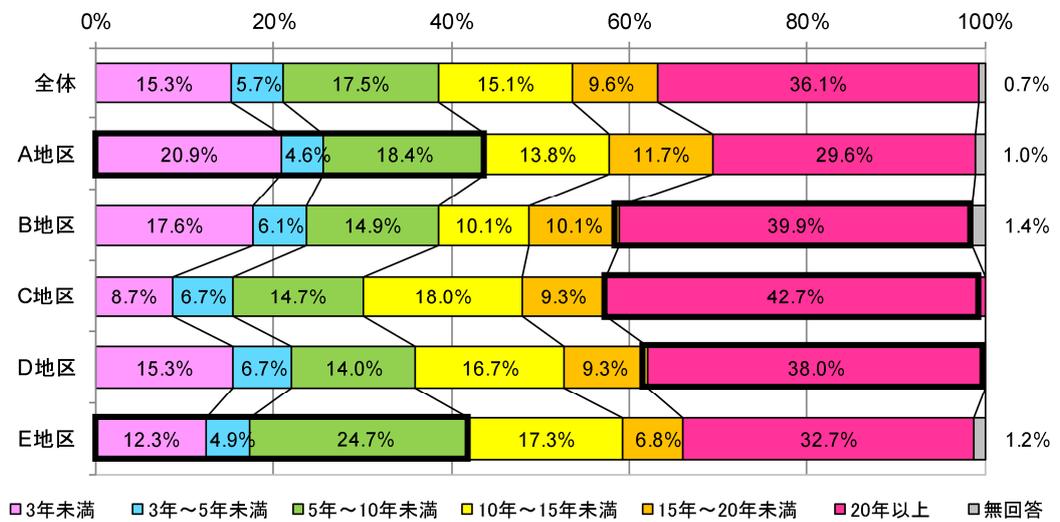
【居住年数】

- 居住年数は、A・E地区で10年未満の新しい居住者の割合が高く、B・C・D地区で20年以上の居住者の割合が高い。

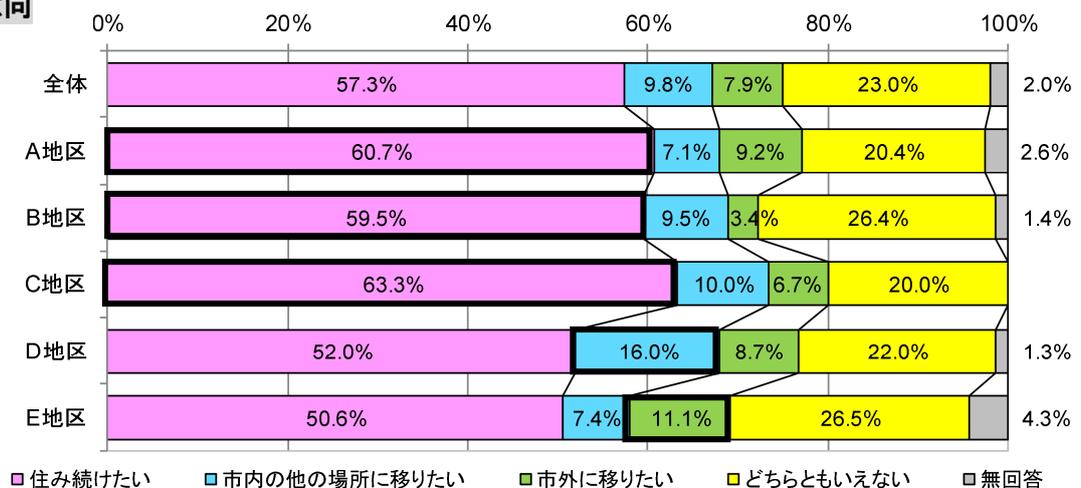
【今後の居留意向】

- 全体的に『住み続けたい』方の割合が高く、特に、A・B・C地区で地区別でその傾向が顕著である。
- D地区は『市内の他の場所に移りたい』方の割合が最も高く、その主な理由は『買い物不便』、『現在の住宅が狭い』となっている。
- E地区は『市外に移りたい』方の割合が最も高く、その主な理由は『買い物が不便』、『通勤・通学が不便』となっている。

居住年数



今後の居留意向



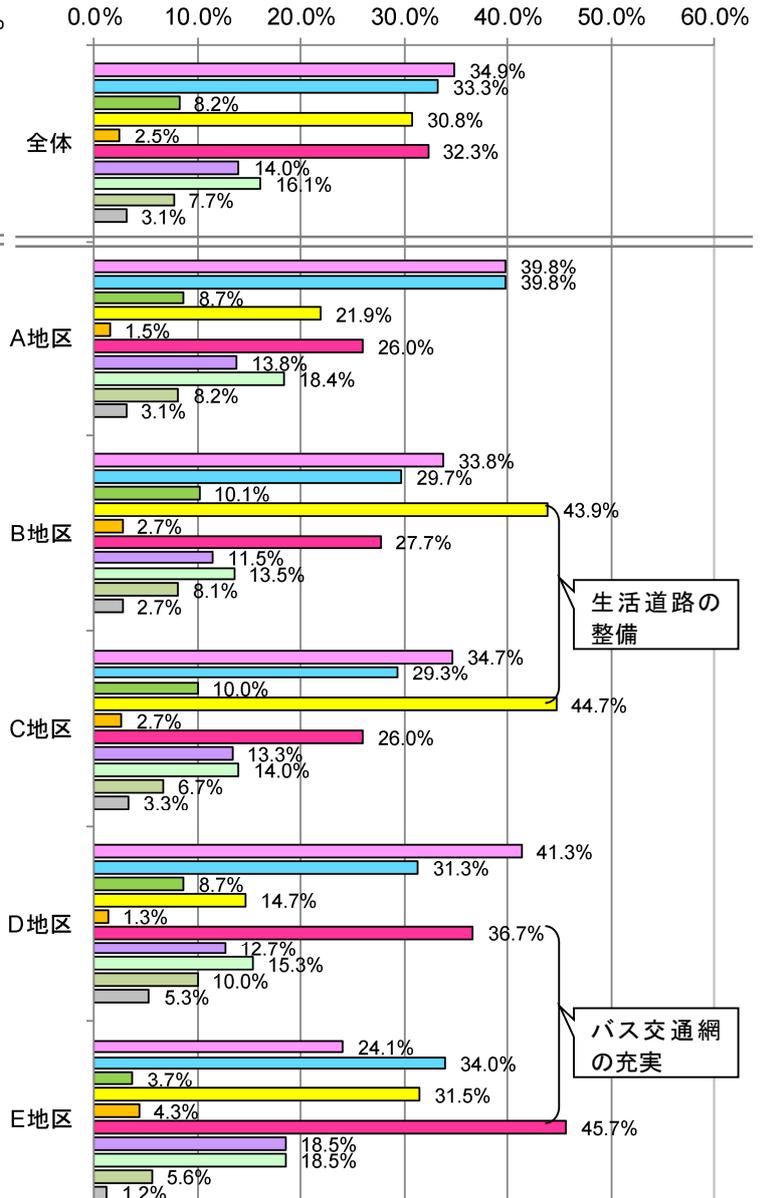
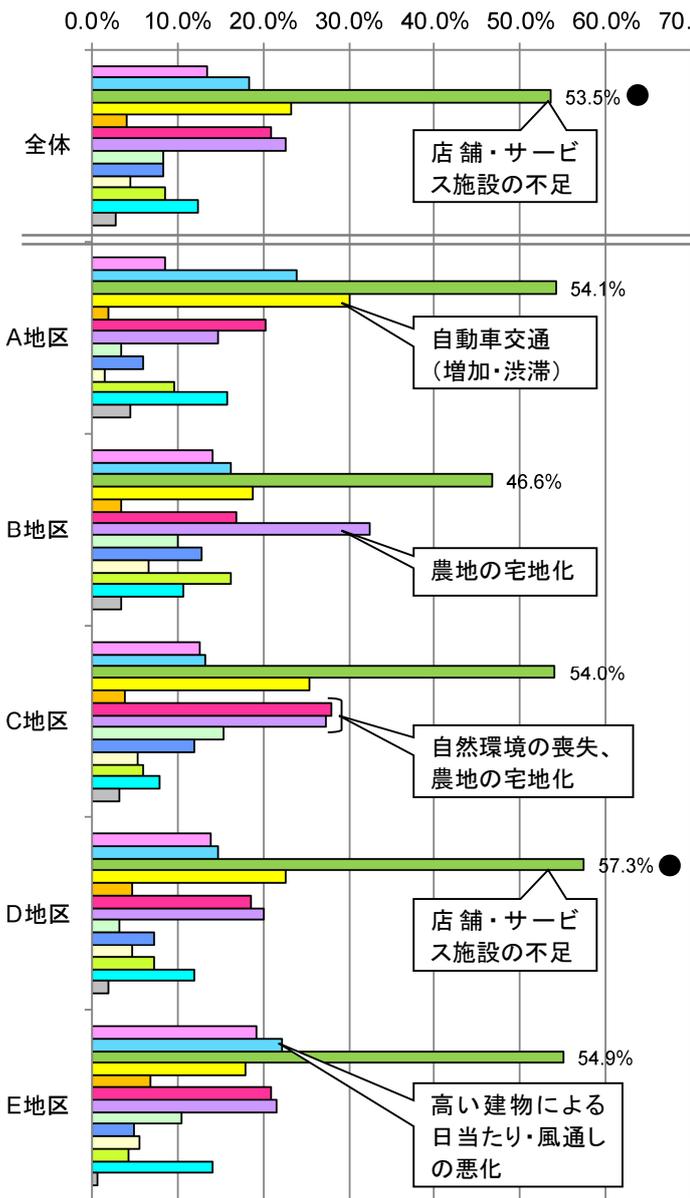
4) その他の事項について

土地利用上の問題

- ◆いずれの地区でも、日常生活のための店舗・サービス施設の不足の割合がかなり高くなっています。
- ◆また、B地区では、農地の無秩序な宅地化も高いです。

まちづくりで重要なもの

- ◆各地区で回答に違いが見られます。A地区は、核となる中心市街地の整備と、地区特性を生かしたまちづくり、B地区とC地区は、生活道路の整備、D地区は、核となる中心市街地の整備、E地区は、バス交通網の充実が高いです。

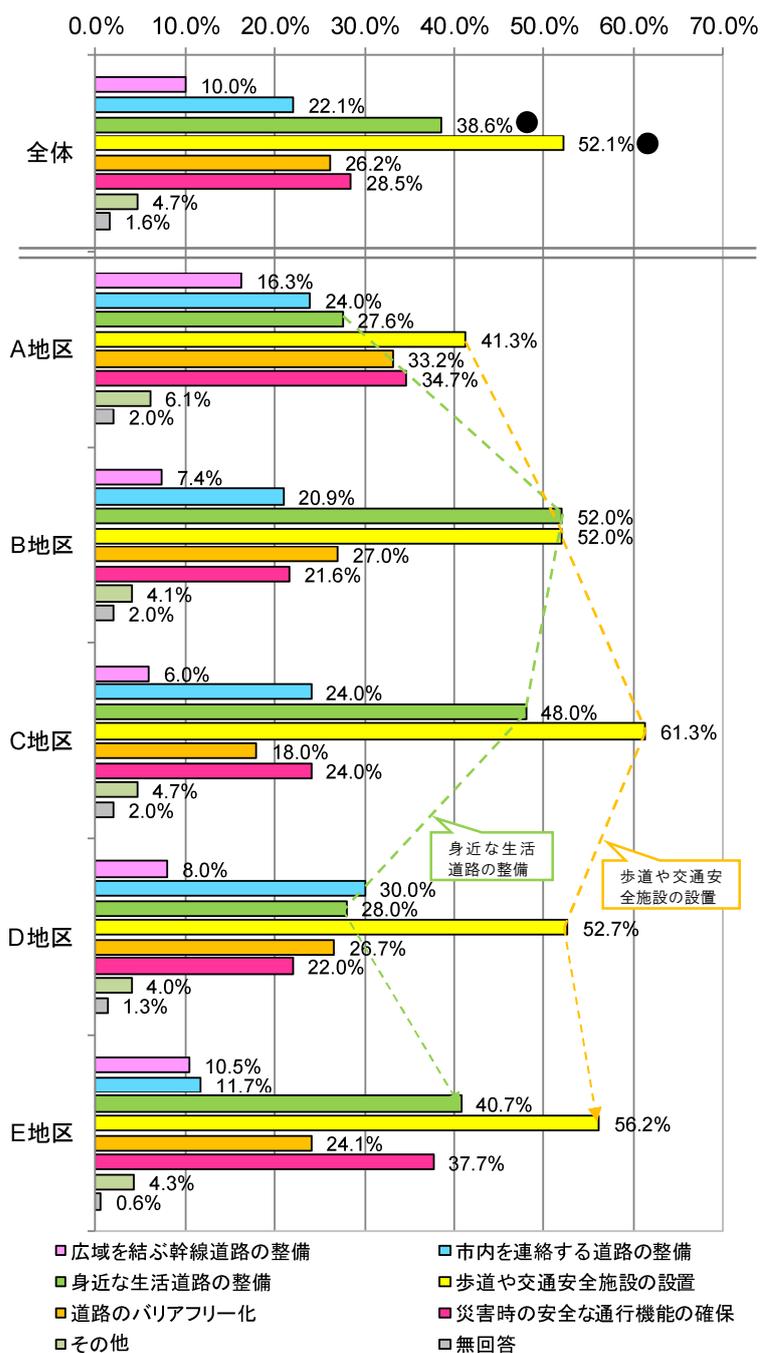


- 放置され老朽化した空き家の増加
- ビル・マンションなど、高い建物による日当たり・風通しの悪化
- 日常生活のための店舗・サービス施設の不足
- 住宅開発や店舗・事務所などの立地による自動車交通量の増加・渋滞
- 工場操業による騒音・振動・悪臭などの発生
- 開発による豊かな自然環境の喪失
- 農地の無秩序な宅地化
- 資材置き場・空き地の増加
- 担い手のいない耕作放棄地増加
- 手入れの行われていない山林・原野増加
- その他
- 特に問題はない
- 無回答

- 核となる中心市街地の形成
- 幹線道路の整備
- 下水道の整備
- 公園緑地の整備
- その他
- 地区特性を生かしたまちづくり
- 生活道路の整備
- バス交通網の充実
- 緑化の推進
- 無回答

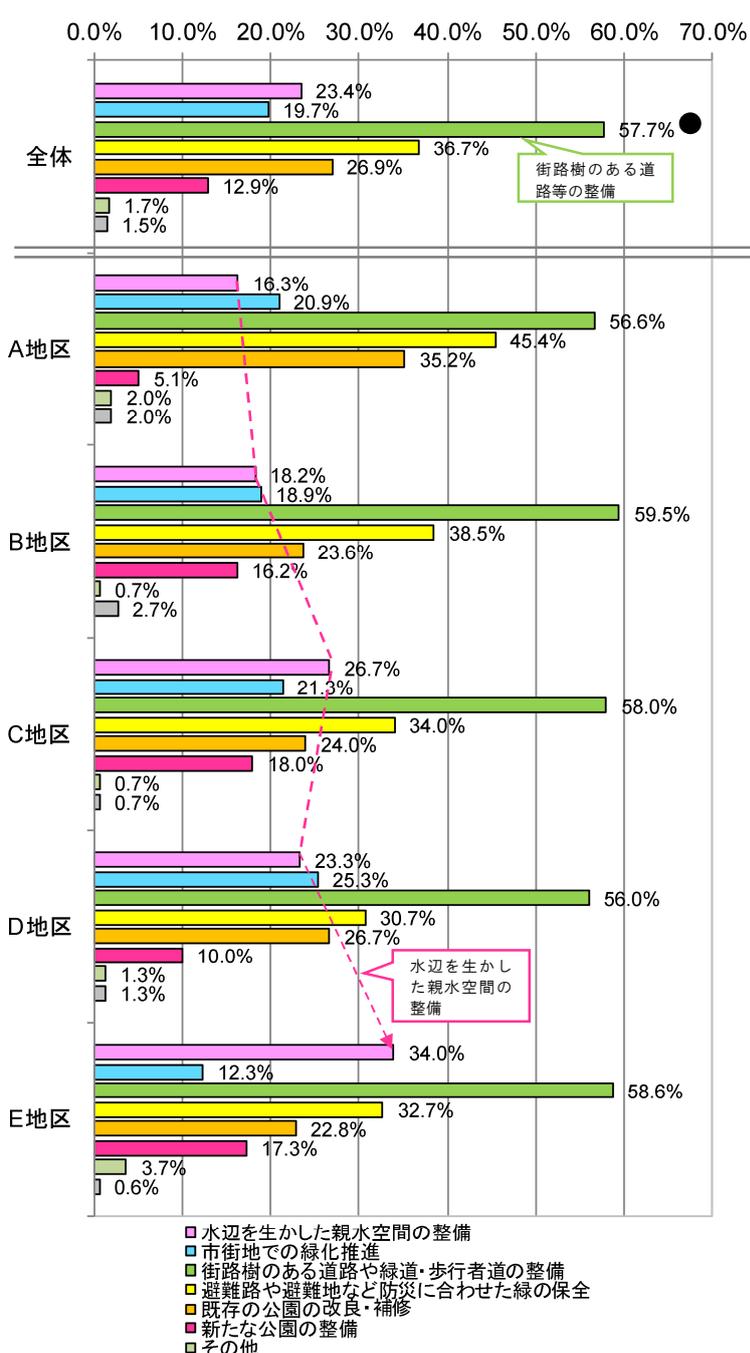
道路について強化すべき点

- ◆いずれの地区でも、歩道や交通安全施設の設置が最も高いです。
- ◆また、B地区とC地区では、身近な生活道路の整備も高いです。



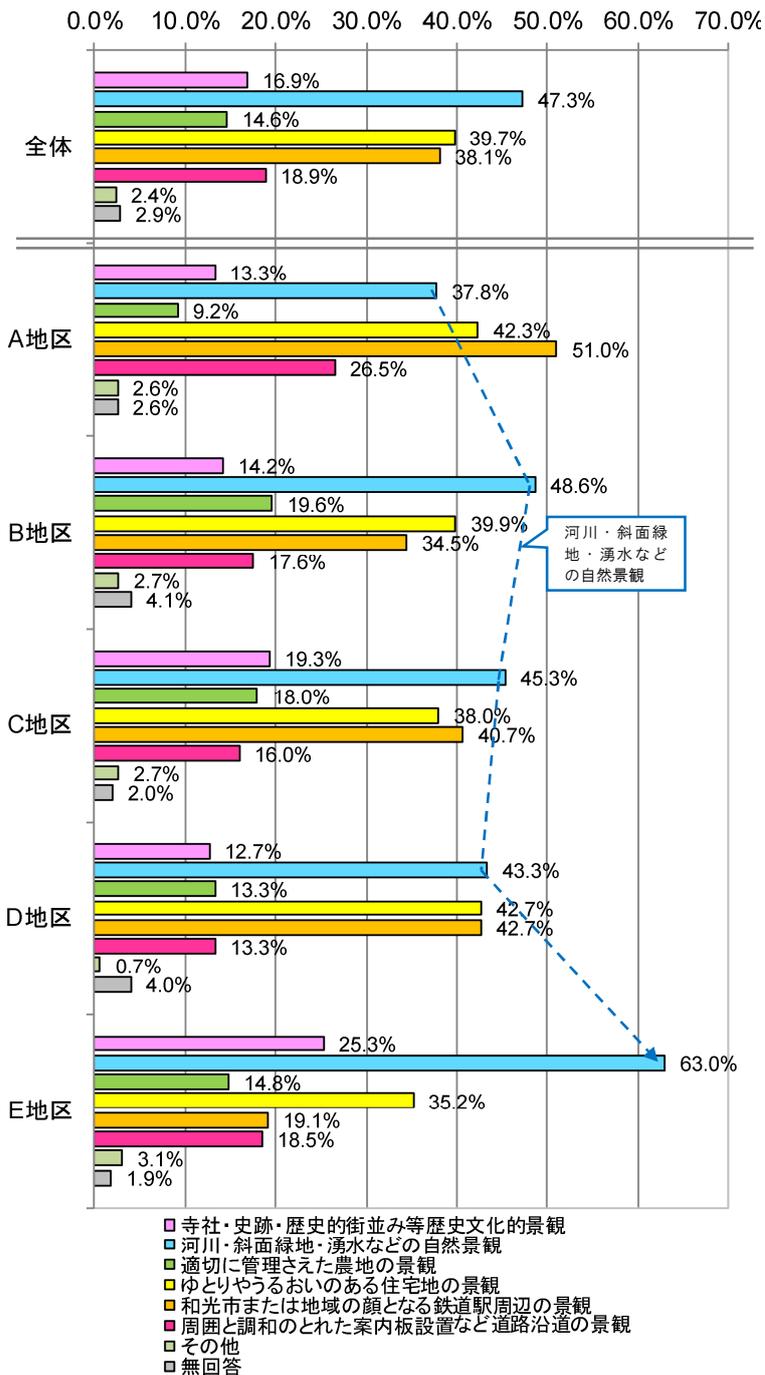
みどりのまちづくりで重要なもの

- ◆いずれの地区でも、街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が5割を超えて最も高いです。
- ◆各地区の違いはあまり見られませんが、E地区は、水辺を生かした親水空間の整備も比較的高いです。



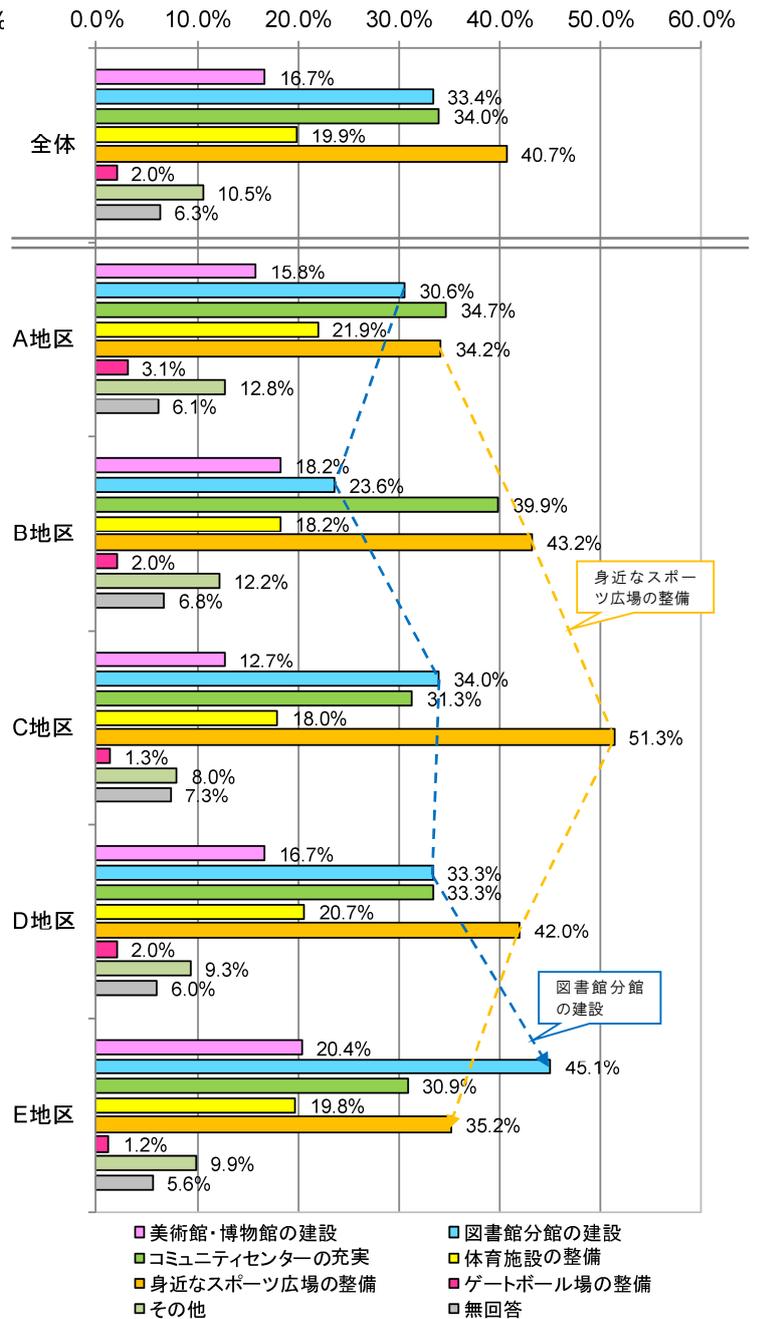
景観形成に重要なもの

◆A地区は、和光市又は地域の顔となる鉄道駅周辺の景観の割合が高いが、B地区～E地区は、河川・斜面緑地・湧水などの自然景観の割合が最も高いです。



文化・教育・スポーツの施策

◆A地区～D地区は、身近なスポーツ広場の整備の割合が高く、E地区は、図書館分館の建設が高いです。



2 地区別の現況・課題

A 地区の状況

■地区の課題

①**特徴**：鉄道駅をはじめ、大規模商業や中心商店街が立地、市役所、学校、国立研究所、司法研究所など公共公益施設が集中し、都市基盤整備が最も進んでいる。アンケート結果から地域環境に対する満足度は、他地区と比べると最も高い。

②**課題**：公共公益施設や都市基盤施設が整っており、住民の地域環境に対する満足度が高いものの5地区の中で唯一人口が減少している。

⇒ 西大和団地は入居者の高齢化や建物の老朽化が進んでおり、人口減少の主な要因と想定される。このため西大和団地における住宅環境の再生を重点的に行うことが重要と考えられる。

アンケート結果からは、上記のほかに、地区特性を生かしたまちづくり、核となる鉄道駅周辺の景観づくり、医療施設の充実などが地区全体の課題である。

■地区データ

		地区面積	172ha			
市街化動向	人口	人口 (H22)	17,724 人	人口密度 (H22)	103.0 人/ha	
		高齢化率 (H22)	16.7%	増加率 (H7-H22)	-3.9%	
都市施設等	面整備等	地区名	施行年度		面積	
		丸山台土地区画整理事業	S45-H10		38.2ha	
	西大和団地					
	道路	都市計画道路	3.4.1 東京松本バイパス線	1.1.2 高速外環状道路	3.4.10 広沢原清水線	
		整備済	3.5.11 駅通り車庫線	3.5.8 南口駅前線	3.4.7 丸山義名山線	
	公園	都市計画公園	和光樹林公園	広沢原児童公園		
		その他公園	チビッコ公園	本町児童公園		
下水道	中央第3汚水幹線、中央第4汚水幹線、中川雨水幹線、谷中川第15-1号雨水幹線、谷中川第4号雨水幹線、越戸川第16号雨水幹線					
小中学校	本町小学校、広沢小学校、第三小学校、第二中学校					
その他	保育所	3ヶ所	駐輪場	1ヶ所		
アンケート	満足度・不満足	満足度 (37.9%) は市平均 (30.6%) と比較して最も高い 『騒音等公害に対する対策』、『医療施設の充実』が特に求められている				
	まちづくりで重要なもの	『地区特性を生かしたまちづくり』				
	景観形成で重要なもの	『和光市または地域の核となる鉄道駅周辺の景観』				

A地区

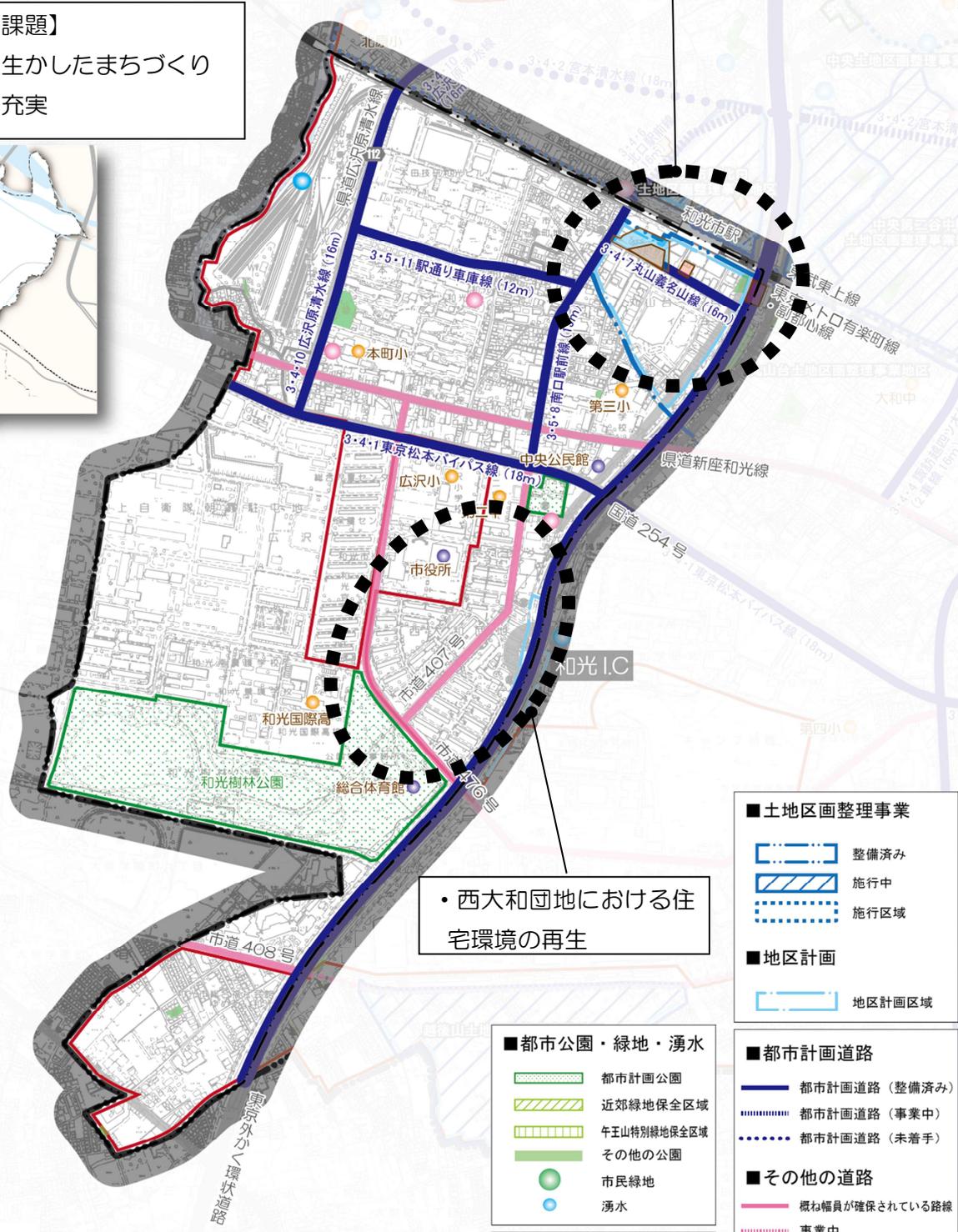
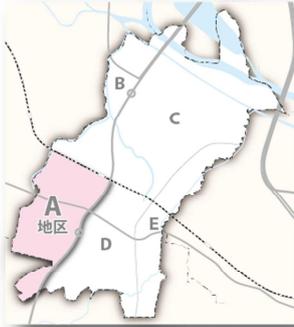
課題図・資源図



- ・ 駅利用者の東側市街地へのアクセス性の向上
- ・ 核となる鉄道駅周辺の景観づくり

【地区全体の課題】

- ・ 地区特性を生かしたまちづくり
- ・ 医療施設の充実



- ・ 西大和団地における住宅環境の再生

■ 土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> 整備済み 施工中 施行区域
■ 地区計画	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域
■ 都市公園・緑地・湧水	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画公園 近郊緑地保全区域 午王山特別緑地保全区域 その他の公園 市民緑地 湧水
■ 都市計画道路	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路（整備済み） 都市計画道路（事業中） 都市計画道路（未着手）
■ その他の道路	<ul style="list-style-type: none"> 概ね幅員が確保されている路線 事業中 整備計画あり（W=12m） （現道W=8~12m）
■ 施設	<ul style="list-style-type: none"> 駅前交通広場 駐輪場 ごみ焼却ごみ処理場 公共施設 教育施設 保育所
■ 都市計画区域	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域 市街化調整区域 市街化区域



B 地区の状況

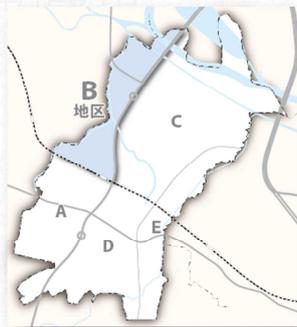
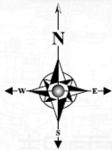
■地区の課題

- ①**特徴**：荒川周辺を除いて、ほぼ全域が市街化区域である。ふれあいの森、湧水、河川、生産緑地など豊かな自然が分布している一方、生活道路などが十分に整備されていない。
- ②**課題**：アンケート結果からは、「生活道路等の整備・改善」が特に求められており、和光市駅北口土地区画整理事業の早期整備や土地区画整理の長期未着手地区における都市基盤整備が課題である。

■地区データ

		地区面積	138ha		
市街化動向	人口	人口 (H22)	7,793 人		
		人口密度 (H22)	56.5 人/ha		
	高齢化率 (H22)	16.3%			
	増加率 (H7-H22)	25.0%			
		<p>人口構成 (H22) (%)</p>		<p>人口推移 (H7-H22)</p>	
都市施設等	面整備	地区名	施行年度	面積	
		和光市駅北口土地区画整理事業	H20-	11.3ha	
		中央土地区画整理事業	未着手	105.2ha	
		和光北インター地域土地区画整理事業	H21-	18.2ha	
	道路	都市計画道路整備済	1.1.2 高速外環状道路		
		事業中	3.4.6 北口駅前線	3.2.13 志木和光線	
		未着手	3.4.2 宮本清水線		
	公園	都市計画公園整備中	和光市アーバンアクア公園		
	下水道	中央第3号汚水幹線、中央第4号汚水幹線、中央第1号汚水幹線、東部第1号汚水幹線、越戸川第16号雨水幹線、谷中川第4号雨水幹線、越戸川第1号雨水幹線、新河岸第3号雨水幹線			
	小中学校	北原小学校			
その他	保育所	3ヶ所	駐輪場	2ヶ所	
アンケート	満足度・不満度	満足度 (26.4%) は市平均 (30.6%) と比較して低い 『道路の整備状況の改善』、『買い物への向上』が特に求められている			
	まちづくりで重要なもの	『生活道路の整備』			
	道路について強化すべき点	『身近な生活道路の整備』			

B地区 課題・資源図

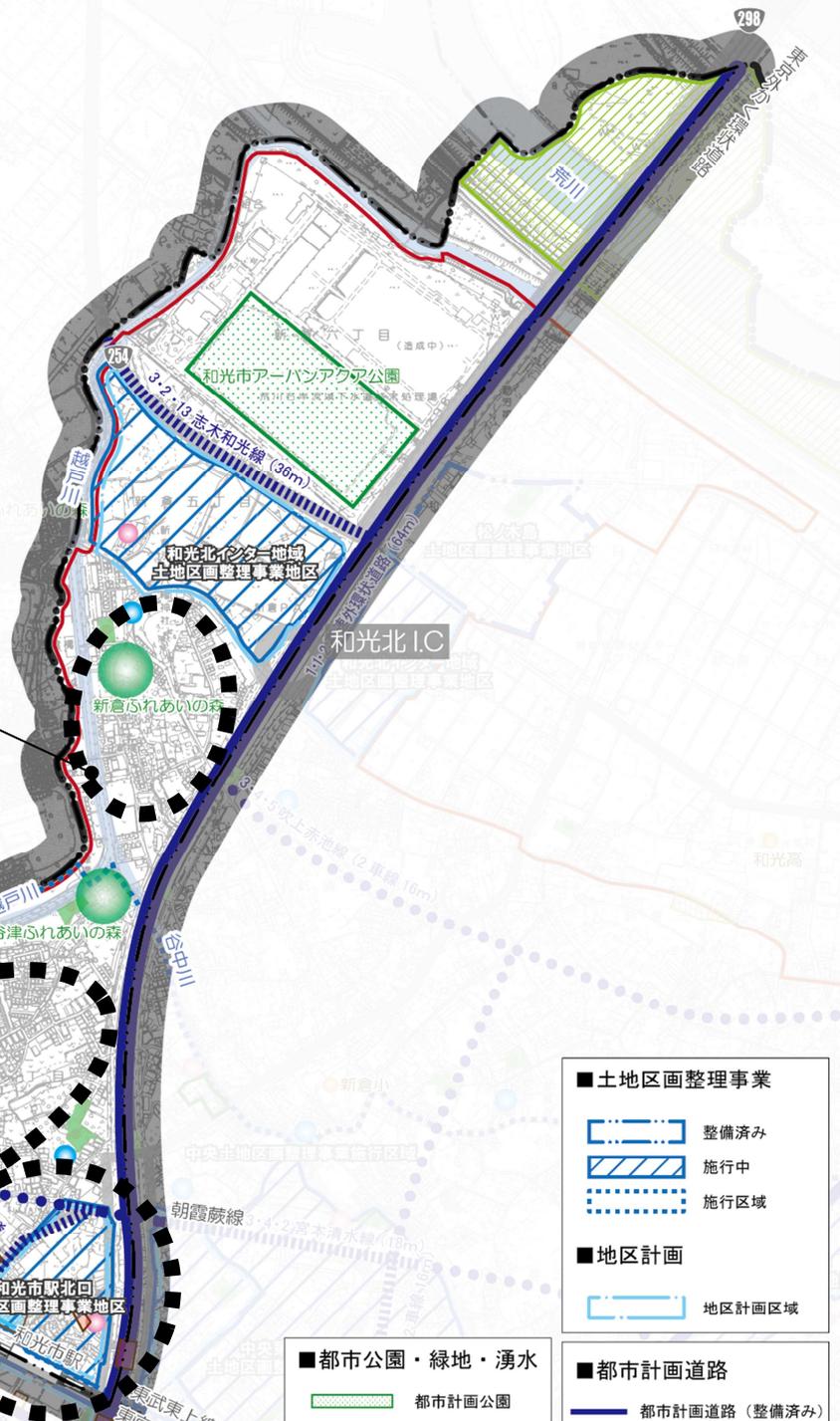


- 道路の整備状況の改善
- 買い物の利便性向上

- 土地区画整理の長期未着手地区

- 駅利用者の東側市街地へのアクセス性の向上
- 駅北口土地区画整理事業の早期整備

0 100 500m



■土地区画整理事業	
	整備済み
	施行中
	施行区域
■地区計画	
	地区計画区域

■都市公園・緑地・湧水	
	都市計画公園
	近郊緑地保全区域
	午玉山特別緑地保全区域
	その他の公園
	市民緑地
	湧水

■都市計画道路	
	都市計画道路 (整備済み)
	都市計画道路 (事業中)
	都市計画道路 (未着手)
■その他の道路	
	概ね幅員が確保されている路線
	事業中
	整備計画あり (W=12m) (現道W=8~12m)

■施設	
	駅前交通広場
	駐輪場
	ごみ焼却ごみ処理場
	公共施設
	教育施設
	保育所

■都市計画区域	
	都市計画区域
	市街化調整区域
	市街化区域

C 地区の状況

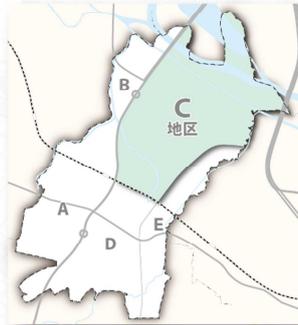
■地区の課題

- ①**特徴**：北側の約半分が市街化調整区域であり、農地や市民農園が分布している。南側の約半分は市街化区域であり生産緑地が広がっていると同時に、湧水や公園が点在している。人口増加率は5地区の中で最も高い。
- ②**課題**：市街化調整区域では、和光インター線（水道道路）沿道における資材・残土置き場等の無秩序な土地利用が課題である。市街化区域では、駅周辺部で戸建住宅の立地、縁辺部で中高層住宅の立地が進行し、都市経営面で不効率な構造となっている。また、アンケート結果から「生活道路等の整備・改善」が特に求められている。

■地区データ

		地区面積	460ha			
市街化動向	人口	人口（H22）	19,137人	人口密度（H22）	41.6人/ha	
		高齢化率（H22）	14.9%	増加率（H7-H22）	74.7%	
	<p>人口構成（H22） (%)</p> <p>0 50 100</p> <p>C地区 15.4 69.7 14.9</p> <p>市全体 14.5 70.9 14.6</p> <p>■15歳未満 ■15～64歳 ■65歳以上</p>			<p>人口推移（H7-H22）</p> <p>(人)</p> <p>30,000</p> <p>20,000</p> <p>10,000</p> <p>0</p> <p>H7 H22</p> <p>10,954 19,137</p>		
都市施設等	面整備	地区名	施行年度		面積	
		中央第二谷中土地区画整理事業	H4-		25.5ha	
		中央土地区画整理事業	—		105.2ha	
		松ノ木島土地区画整理事業	S60-H2		7.7ha	
		和光北インター地域土地区画整理事業	H21-		18.2ha	
		野川土地区画整理事業	H4-H15		4.1ha	
	道路	都市計画道路整備済	1.1.2 高速外環状道路	3.4.3 練馬川口線		
		事業中	3.4.2 宮本清水線（一部）	3.4.4 諏訪越四ツ木線（一部）		
		未着手	3.4.2 宮本清水線（一部）	3.4.4 諏訪越四ツ木線（一部）		3.4.5 吹上赤池線
	公園	都市計画公園	柿ノ木坂児童公園			
その他公園		松ノ木島公園	野川公園	荒川河川敷運動公園		
下水道	東部第1号汚水幹線、東部第2号汚水幹線、中央第1号汚水幹線、中央第2号汚水幹線、中央第3号汚水幹線 越戸川第1号雨水幹線、新河岸川第3号雨水幹線、新河岸川第2号雨水幹線、白子川第1号雨水幹線、白子川第2号雨水幹線、白子川第2-1号雨水幹線、中川雨水幹線、谷中川雨水幹線、谷中川第4号雨水幹線					
小中学校	新倉小学校					
その他	保育所	2ヶ所	駐輪場	1ヶ所		
アンケート	満足度・不満度	満足度（26.6%）は市平均（30.6%）と比較して低い 『道路の整備状況の改善』、『買い物への向上』が特に求められている				
	まちづくりで重要なもの	『生活道路の整備』				
	道路について強化すべき点	『歩道や交通安全施設の設置』『身近な生活道路の整備』				
	文化・教育・スポーツの施策	『身近なスポーツ広場の整備』				

C地区 課題・資源図

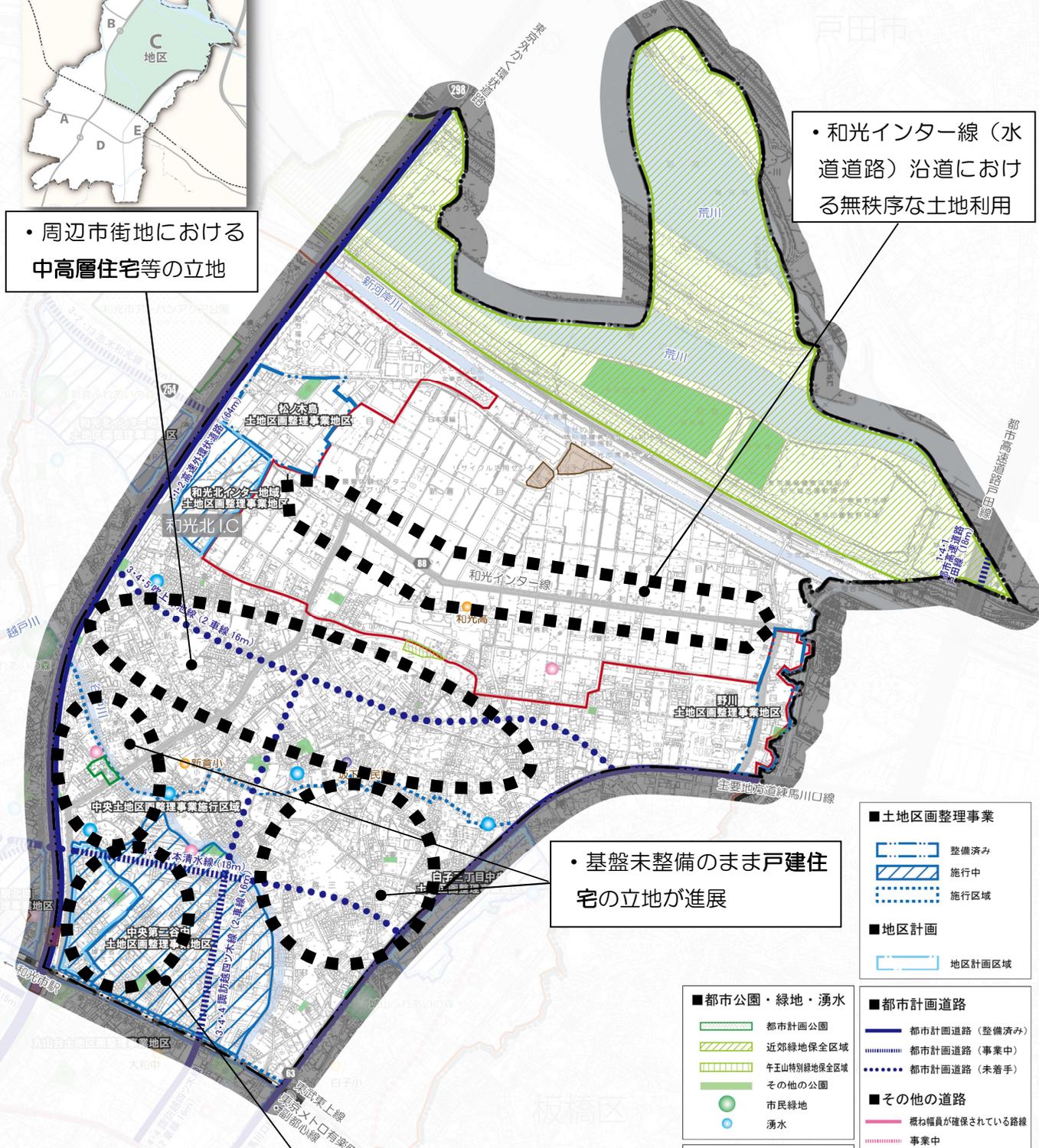


・周辺市街地における
中高層住宅等の立地

・和光インター線（水道道路）沿道における無秩序な土地利用

・基盤未整備のまま戸建住宅の立地が進展

・駅北口土地区画整理事業の早期整備



<p>■土地区画整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備済み 施行中 施行区域 	<p>■地区計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区計画区域
<p>■都市公園・緑地・湧水</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画公園 近郊緑地保全区域 午王山特別緑地保全区域 その他の公園 市民緑地 湧水 	<p>■都市計画道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路（整備済み） 都市計画道路（事業中） 都市計画道路（未着手）
<p>■施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅前交通広場 駐輪場 ごみ焼却ごみ処理場 公共施設 教育施設 保育所 	<p>■その他の道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね幅員が確保されている路線 事業中 整備計画あり（W=12m） （現道W=8~12m）
	<p>■都市計画区域</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画区域 市街化調整区域 市街化区域



D地区の状況

■地区の課題

- ①**特徴**：鉄道駅南側の比較的基盤整備が進んでいる地区であり、アンケートによる地域環境への満足度はA地区に次いで高く、人口（H7～H22）は増加している。
- ②**課題**：アンケートでは、買い物の便の向上、騒音等公害に対する対策、核となる中心市街地の形成が求められており、沿道商業業務地の利便性の向上や、国有地の有効活用が課題である。

■地区データ

		地区面積	201ha		
市街化動向	人口	人口（H22）	15,716人	人口密度（H22）	78.2人/ha
		高齢化率（H22）	11.6%	増加率（H7-H22）	60.0%
			<p>人口構成（H22）</p>		<p>人口推移（H7-H22）</p>
都市施設等	面整備	地区名		施行年度	面積
		丸山台土地区画整理事業		S45-H10	38.2ha
		越後山土地区画整理事業		H17-	14.9ha
	道路	都市計画整備済	3.4.1 東京松本バイパス線	3.4.3 練馬川口線	3.4.4 諏訪越四ツ木線
			1.1.2 高速外環状道路		
	公園	都市計画公園	西牛房児童公園		
		その他公園	ワンパク公園	せせらぎ公園	緑の公園
	下水道	中央第1号汚水幹線、中央第2号汚水幹線、東部第1号汚水幹線、谷中川雨水幹線、中川雨水幹線、白子川第28号雨水幹線、白子川第33号雨水幹線			
小中学校	第四小学校、第五小学校、大和中学校、第三中学校				
その他	保育所	2ヶ所			
アンケート	満足度・不満足度	満足度（34.0%）は市平均（30.6%）と比較して高い 『買い物の便の向上』、『騒音等公害に対する対策』が特に求められている			
	まちづくりで重要なもの	『核となる中心市街地の形成』			

D地区

課題・資源図



駅近傍の住宅地としての再生
(用途地域は工業地域であるが、
現在工場の立地は少ない)

地区の中央に米軍基地
が立地

国有地の有効活用

- 都市公園・緑地・湧水
 - 都市計画公園
 - 近郊緑地保全区域
 - 午王山特別緑地保全区域
 - その他の公園
 - 市民緑地
 - 湧水

- 施設
 - 駅前交通広場
 - 駐輪場
 - ごみ焼却ごみ処理場
 - 公共施設
 - 教育施設
 - 保育所

- 都市計画道路
 - 都市計画道路 (整備済み)
 - 都市計画道路 (事業中)
 - 都市計画道路 (未着手)

- その他の道路
 - 概ね幅員が確保されている路線
 - 事業中
 - 整備計画あり (W=12m)
(現道W=8~12m)

- 土地区画整理事業
 - 整備済み
 - 施行中
 - 施行区域

- 地区計画
 - 地区計画区域

- 都市計画区域
 - 都市計画区域
 - 市街化調整区域
 - 市街化区域



E地区の状況

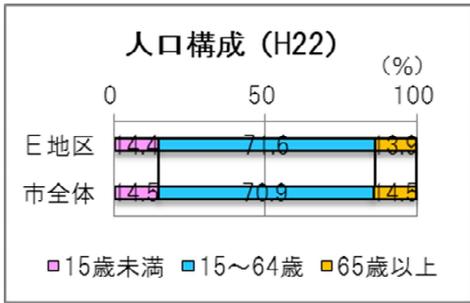
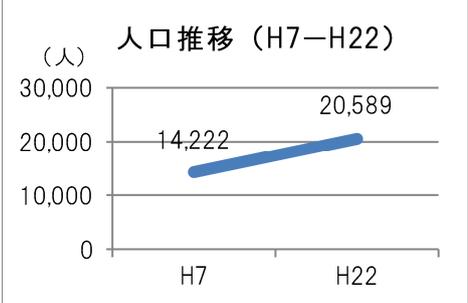
■地区の課題

①**特徴**：古くからの宿場町である旧白子宿を有している。近年では中高層住宅の立地が進行し、人口密度は市のなかで最も高い。都県境に接し、生活の中心は成増駅・西高島平駅（板橋区）や光が丘駅（練馬区）となっている。

②**課題**：アンケートでは、満足度が市全体の中で最も低く、買い物の利便性向上、医療施設のほか、バス交通網の充実、自然景観形成、図書館の分館が求められている。

地区内には斜面林等の緑、湧水などとともに商家など宿場町の面影も残されており、地域資源を活用したまちづくりが望まれる。

■地区データ

		地区面積	120ha		
市街化動向	人口	人口（H22）	20,589人	人口密度（H22）	171.6人/ha
		高齢化率（H22）	13.9%	増加率（H7-H22）	44.8%
					
					
都市施設等	面整備	地区名	施行年度		面積
		白子3丁目中央土地区画整理事業	H21-		7.0ha
	道路	都市計画整備済	3.4.1 東京松本バイパス線	3.4.3 練馬川口線	
		その他公園	南越ノ上児童公園		
	下水道	東部第1号汚水幹線、白子川第2-1号雨水幹線、白子川第28号雨水幹線			
	小中学校	白子小学校			
	その他	保育所	2ヶ所	駐輪場	—
アンケート	満足度・不満度	満足度（26.0%）は市平均（30.6%）と比較して最も低い 『買い物の便の向上』、『医療施設の充実』が特に求められている			
	まちづくりで重要なもの	『バス交通網の充実』			
	道路について強化すべき点	『歩道や交通安全施設の設置』			
	景観形成に重要なもの	『河川・斜面緑地・湧水などの自然景観』			
	文化・教育・スポーツの施策	『図書館分館の建設』			

E地区 課題・資源図

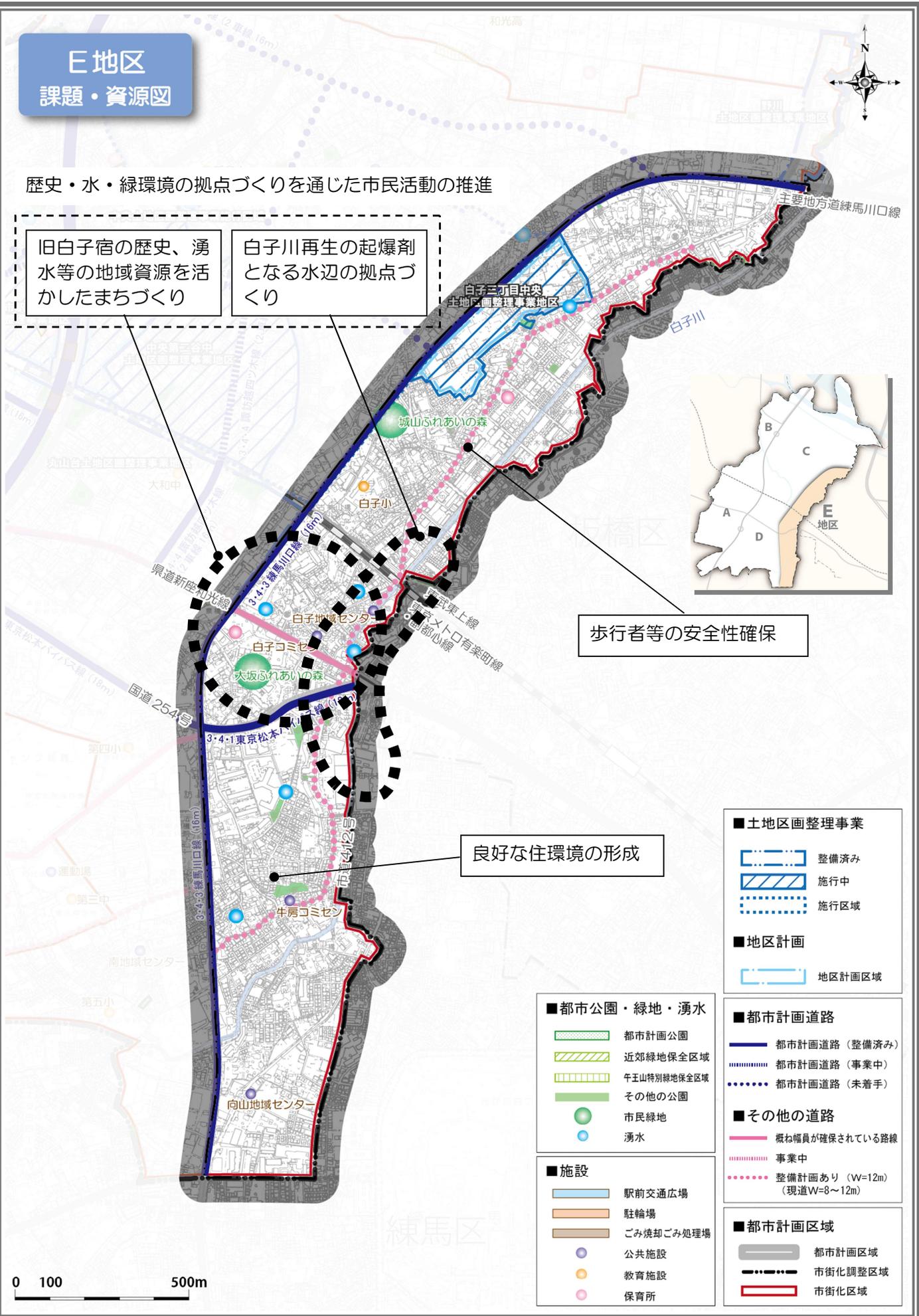
歴史・水・緑環境の拠点づくりを通じた市民活動の推進

旧白子宿の歴史、湧水等の地域資源を活かしたまちづくり

白子川再生の起爆剤となる水辺の拠点づくり

歩行者等の安全性確保

良好な住環境の形成



- 土地区画整理事業
 - 整備済み
 - 施行中
 - 施行区域
- 地区計画
 - 地区計画区域
- 都市公園・緑地・湧水
 - 都市計画公園
 - 近郊緑地保全区域
 - 午王山特別緑地保全区域
 - その他の公園
 - 市民緑地
 - 湧水
- 施設
 - 駅前交通広場
 - 駐輪場
 - ごみ焼却ごみ処理場
 - 公共施設
 - 教育施設
 - 保育所
- 都市計画道路
 - 都市計画道路（整備済み）
 - 都市計画道路（事業中）
 - 都市計画道路（未着手）
- その他の道路
 - 概ね幅員が確保されている路線
 - 事業中
 - 整備計画あり（W=12m）
（現道W=8~12m）
- 都市計画区域
 - 都市計画区域
 - 市街化調整区域
 - 市街化区域

0 100 500m

3 地区別の施策実施状況

A地区

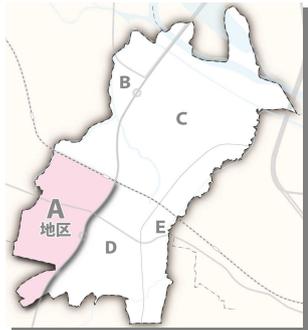
平成13年都市計画マスタープラン まちづくり方針 (◎：重点的なまちづくり方針)	施策の実施状況 (○完了、△事業中、×未着手等)
①シンボルストリートの整備【◎】 ・南口駅前線 ・市道406号線	○ 完了（一部区間除く） ・カラー舗装 ・電線類地中化（一部区間除く）
②中心市街地の活性化【◎】 ・核的な商業施設の充実、既存商店街との連携	△ 事業中 ・産業振興計画では既存店舗を活かす方向 ⇒イベントを通じた商業振興、地域ブランド、 和光のお店ガイダンス（冊子）の作成等の ソフト施策を展開
③駅周辺市街地の再整備 ・土地の高度利用 ・都市型住宅等の建設	× 未着手 ・一部地区で高度地区25mの指定により高度利 用を抑制
④シビック・コアの景観形成・機能強化 (市役所周辺ゾーン)	○ 完了 ・コミュニティ施設整備事業 ・本町地域センター
⑤東京外かく環状道路上部空間の活用 ・文化活動やイベント等により中心市街地の活 性化に活用	× 未着手
⑥南部住宅地の住環境整備	△ 事業中 ・まちづくり条例により500㎡以上の開発で最 低敷地面積等を規制
⑦緑の保全・育成 ・和光樹林公園 ・東京外かく環状道路	△ 事業中 } 維持管理の段階
⑧生活軸の整備 ・県道新座和光線、 ・市道476号線	} ○ 完了
⑨沿道商業業務地区の誘導 ・国道254号沿道への商業業務、集合住宅等 の誘導	× 未着手

A地区まちづくり方針図



- ③ 駅周辺市街地の再整備
- ② 中心市街地の活性化
- ① シンボルストリートの整備・ショッピングストリート
- ⑤ 上部空間の活用
- ④ シビックコアの景観形成・機能強化
- ⑦ 緑の保全・育成
- ⑥ 住環境の整備
- ⑧ 生活軸の整備
- ⑨ 沿道商業業務地区の誘導
- ① シンボルストリートの整備・並木通り
- ⑦ 緑の保全・育成

: 完了(一部含)・事業中
 : 未着手



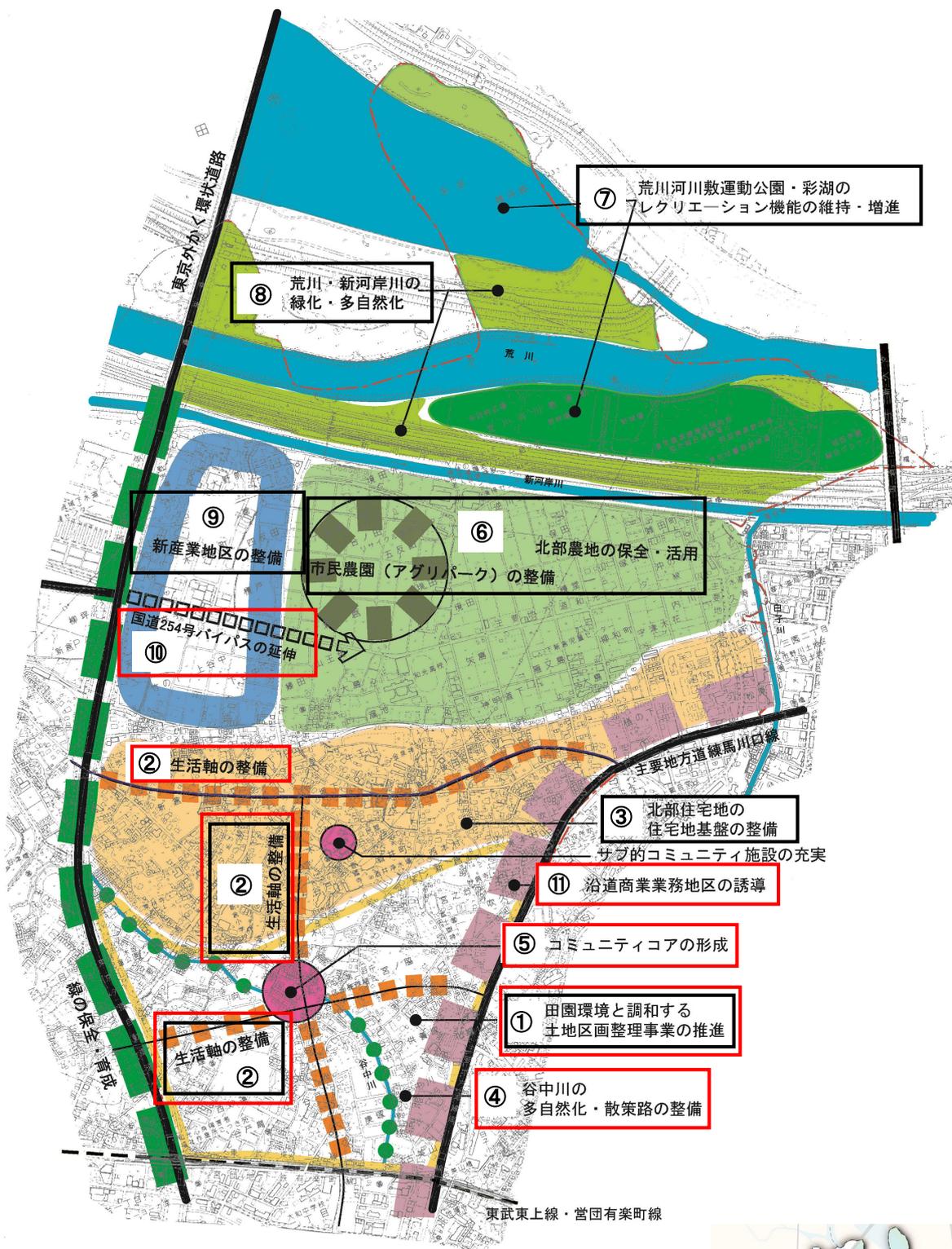
B 地区の状況

<p>平成13年都市計画マスタープラン まちづくり方針 (◎：重点的なまちづくり方針)</p>	<p>施策の実施状況 (○完了、△事業中、×未着手等)</p>
<p>①田園環境と調和する土地区画整理事業の推進 【◎】 ・斜面林・生産緑地等の保全・活用 ・土地区画整理事業の推進</p>	<p>△ 事業中 ・生産緑地は追加指定を行い農地として保全 × 未着手 ・中央土地区画整理事業地区</p>
<p>②駅前商業業務地区の基盤整備の推進 【◎】</p>	<p>△ 事業中 ・駅北口土地区画整理事業</p>
<p>③北部住宅地の住宅地基盤の整備 ・斜面林・生産緑地等の保全・活用 ・狭小道路の整備</p>	<p>△ 事業中 ・生産緑地は追加指定を行い農地として保全 ・和光市道路整備実施計画による整備路線の位置づけ</p>
<p>④駅への自転車歩行者道等の整備 ・駅へ至る歩行者動線の主軸を確保 ・老人福祉センターや新倉氷川八幡神社等を結ぶ歩行者ネットワーク</p>	<p>△ 事業中 ・駅北口土地区画整理事業で駅周辺の道路を整備中</p>
<p>⑤越戸川・谷中川の多自然河川化・散策路の整備</p>	<p>○ 完了 ・水辺再生100プランにより散策路、親水広場を整備済</p>
<p>⑥駅周辺市街地への都市型住宅の立地促進</p>	<p>× 未着手</p>
<p>⑦生活軸の整備 ・都市計画道路宮本清水線</p>	<p>△ 事業中 ・土地区画整理事業中の区間 × 未着手 ・上記以外の区間</p>
<p>⑧緑の保全・育成 ・外かく環状道路（緑軸） ・ふるさとの森（新倉氷川八幡神社）</p>	<p>△ 事業中 ・外環沿道の緑道は継続的に維持管理 × 未着手 ・ふるさとの森（新倉氷川八幡神社）における緑の管理協定は平成23年に廃止</p>
<p>⑨彩の国アーバンアクア広場の整備</p>	<p>△ 事業中 ・平成29年度開設予定</p>
<p>⑩新産業地区の整備</p>	<p>△ 事業中 ・和光北インター地域土地区画整理事業（H21～）及び和光北インター地区地区計画により、新産業・物流地区を整備</p>

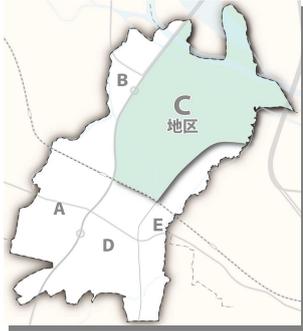
C 地区の状況

平成13年都市計画マスタープラン まちづくり方針 (◎：重点的なまちづくり方針)	施策の実施状況 (○完了、△事業中、×未着手等)
①田園環境と調和する土地区画整理事業の推進 【◎】 ・斜面林・生産緑地等の保全・活用 ・土地区画整理事業の推進	△ 事業中 ・生産緑地は追加指定を行い農地として保全 ・中央土地区画整理事業地区（中央第二谷中） × 未着手 ・中央土地区画整理事業地区（上記以外）
②生活軸の整備 【◎】 ・都市計画道路宮本清水線清 ・都市計画道路諏訪越四ツ木線 ・都市計画道路吹上赤池線	△ 事業中 ・土地区画整理事業中の区間 × 未着手 ・上記以外の区間 ・都市計画道路吹上赤池線
③北部住宅地の住宅地基盤の整備 ・斜面林・生産緑地等の保全・活用 ・狭小道路の整備	△ 事業中 ・生産緑地は追加指定を行い農地として保全 ・和光市道路整備実施計画による整備路線の位置づけ
④谷中川沿いの散策路の整備	× 未着手
⑤コミュニティコアの形成 ・行政・文化活動・公民館等が複合した施設整備 ・坂下公民館をサブ的コミュニティ施設として活用	× 未着手
⑥北部農地の保全・活用 ・優良農地の保全、都市型農業の振興 ・市民農園の整備	△ 事業中 ・市民農園、農業基本構想による保全・活用
⑦荒川河川敷運動公園・彩湖のレクリエーション機能の維持・増進	△ 事業中 ・荒川河川運動公園の維持管理
⑧荒川・新河岸川の緑化・多自然河川化	△ 事業中 ・新河岸川総合治水対策事業
⑨新産業地区の整備	△ 事業中 ・和光北インター地域土地区画整理事業（H21～）及び和光北インター地区地区計画により、新産業・物流地区を整備
⑩国道254号バイパスの延伸	× 未着手 ・要望活動中
⑪沿道商業業務地区の誘導 ・主要地方道練馬川口線沿道への商業業務、集合住宅等の誘導	× 未着手

C地区まちづくり方針図



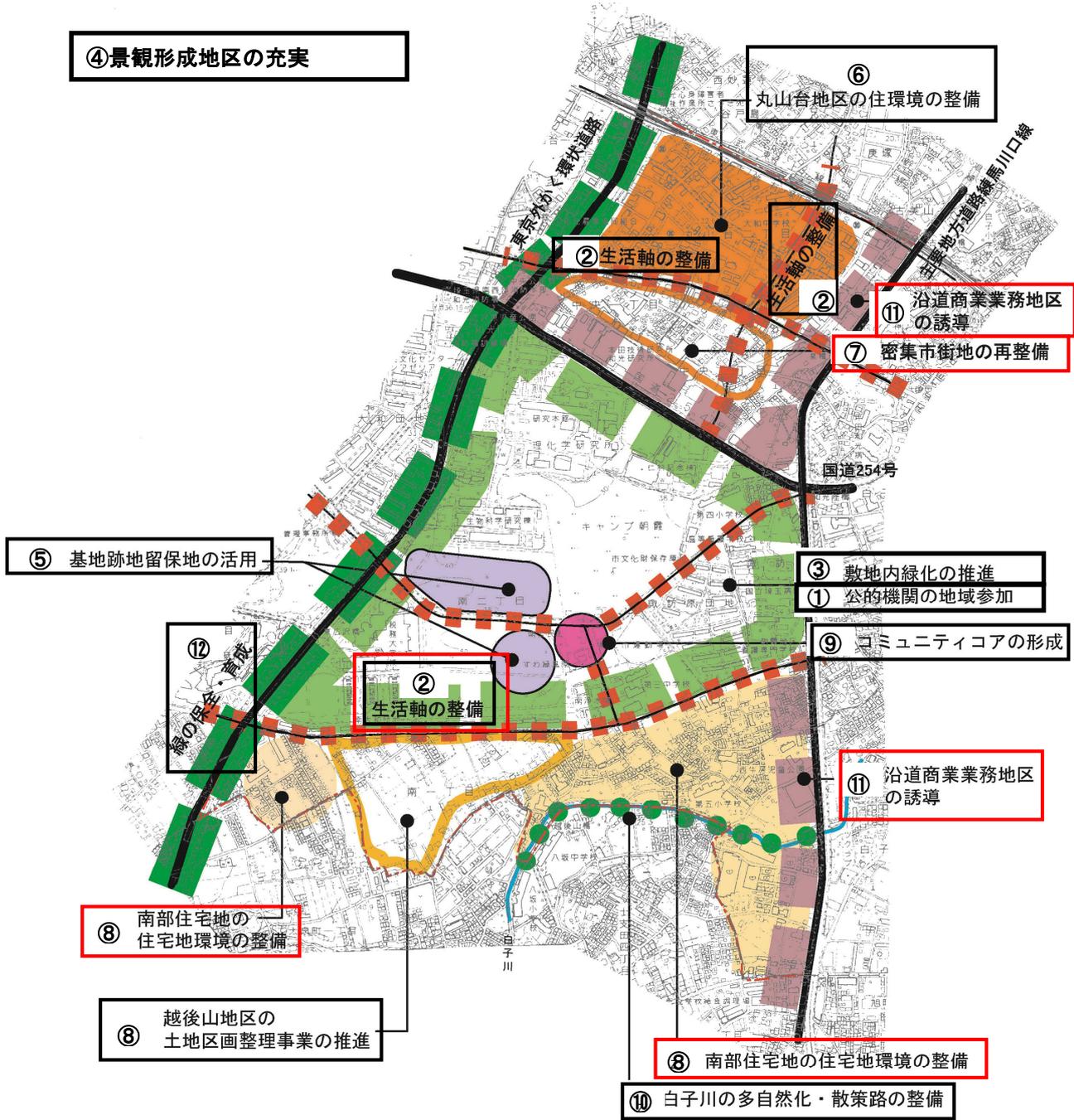
- : 完了（一部含）・事業中
- : 未着手



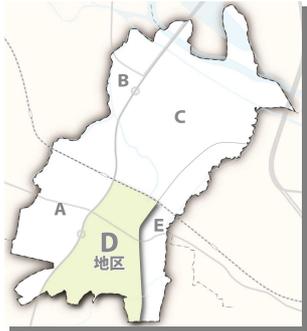
D地区の状況

平成13年都市計画マスタープラン まちづくり方針 (◎：重点的なまちづくり方針)	施策の実施状況 (○完了、△事業中、×未着手等)
①公的機関の地域参加【◎】	△ 事業中 ・市民まつり事業等
②生活軸の整備【◎】 ・都市計画道路諏訪越四ツ木線 ・県道新座和光線 ・市道476号線、市道408号線	△ 事業中 ・土地区画整理事業中の区間は整備中 × 未着手 ・上記以外の区間は未着手
③敷地内緑化の推進 ・公的機関、大規模施設の緑化	○ 完了 ・司法研修所及び目白大学の敷地 (3,000㎡以上⇒県条例による緑化)
④景観形成地区の充実 (和光市南部台地景観形成地区)	△ 事業中 ・景観計画の策定
⑤基地跡地留保地の活用	○ 完了(一部) ・司法研修所の建設等
⑥丸山台地区の住環境の整備	△ 事業中 ・地区計画による住環境等の誘導
⑦密集市街地の再整備	× 未着手
⑧南部住宅地の住宅地環境の整備	△ 事業中 ・越後山土地区画整理事業等 × 未着手 ・上記以外は未着手
⑨コミュニティコアの形成	○ 完了 ・南公民館及び周辺
⑩白子川の多自然化・散策路の整備	○ 完了 ・水辺再生100プランにより散策路を整備済
⑪沿道商業業務地区の誘導	× 未着手
⑫緑の保全・育成	△ 事業中 ・外環沿道の緑道は継続的に維持管理

D地区まちづくり方針図



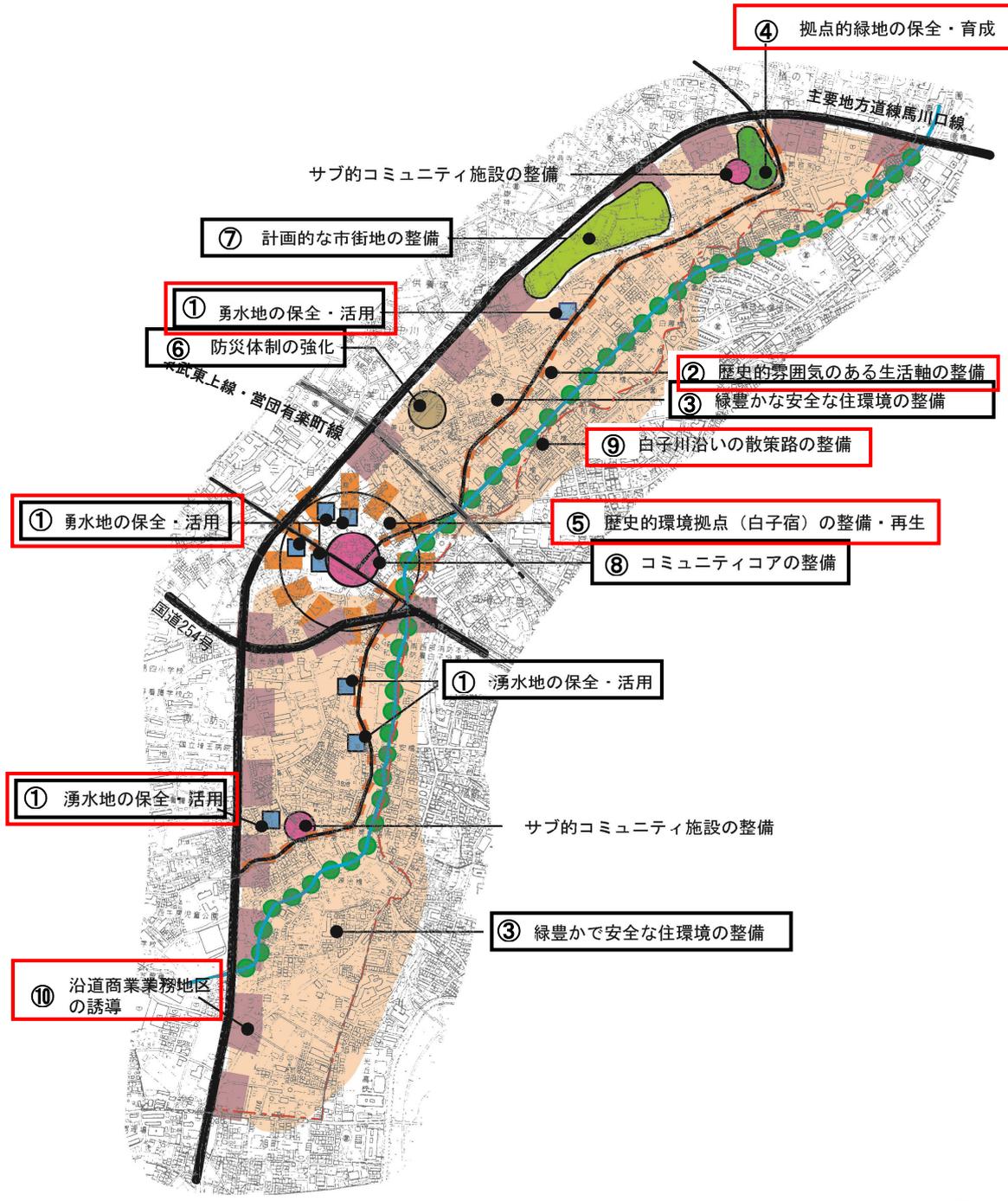
: 完了 (一部含)・事業中
 : 未着手



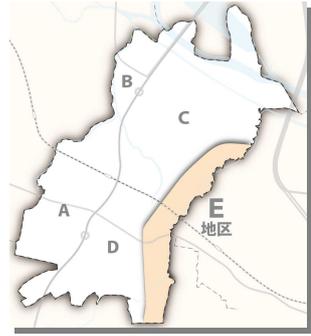
E地区の状況

平成13年都市計画マスタープラン まちづくり方針 (◎：重点的なまちづくり方針)	施策の実施状況 (○完了、△事業中、×未着手等)
①湧水地の保全・活用【◎】	○ 完了 ・湧き水と緑地マップの作成 △ 事業中 ・指定第002号保全地区に指定 × 未着手 ・湧水地を活用した公園等の整備は未着手
②歴史的雰囲気のある生活軸の整備【◎】	× 未着手 ・道路整備
③緑豊かな安全な住宅環境の整備	△ 事業中 ・大坂ふれあいの森の整備 ・生産緑地の追加指定を行い農地として保全
④拠点的緑地の保全・育成	× 廃止 ・ふるさとの森（福田山東明禅寺吹上観音社寺林）における緑の管理協定は平成23年に廃止
⑤歴史的環境拠点（白子宿）の整備・再生	× 未着手
⑥防災体制の強化 ・白子小学校の耐震化	○ 完了 ・小中学校の耐震化（完了） ・練馬区・板橋区との災害時応援協定の締結
⑦計画的な市街地の整備	△ 事業中 ・白子三丁目における土地区画整理・地区計画による整備
⑧コミュニティコアの整備	○ 完了 ・コミュニティ整備事業（白子宿地域センター） ・白子コミセンにおける郷土資料館としての機能導入
⑨白子川沿い散策路の整備	× 未着手 ・一部区間のみ完了
⑩沿道商業業務地区の誘導	× 未着手

E地区まちづくり方針図

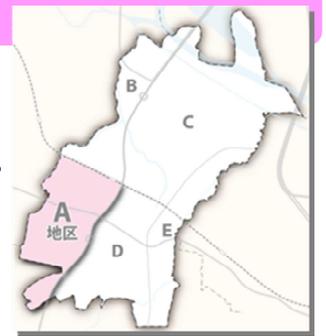


: 完了（一部含）・事業中
 : 未着手



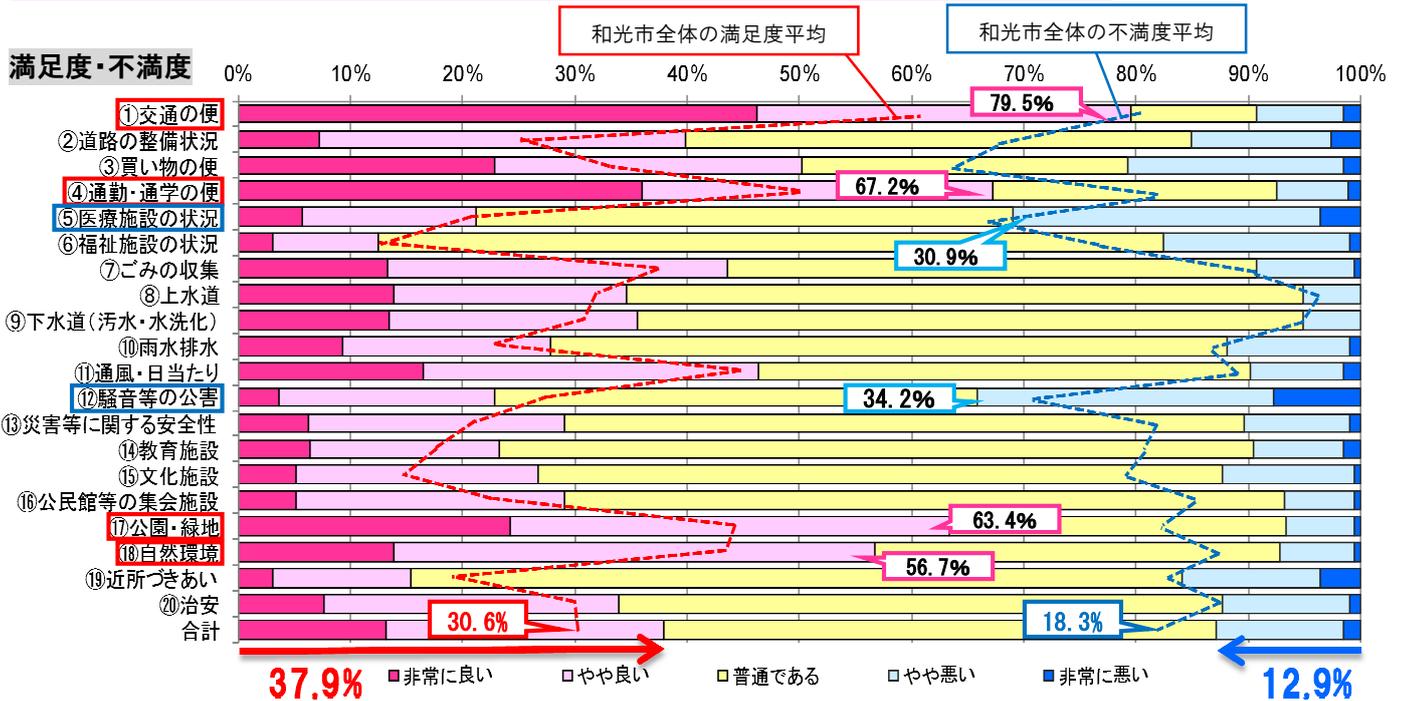
【参考】 地区別のアンケート集計結果

A地区集計

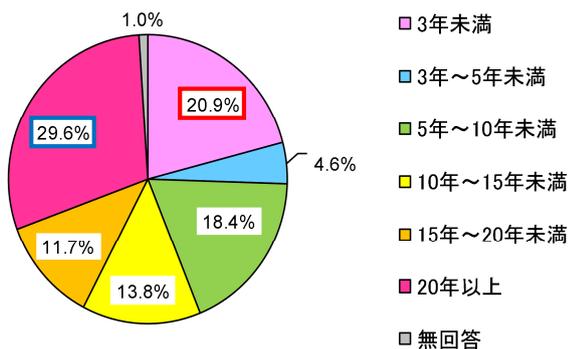


◆和光市全体の満足度が30.6%、不満度は18.3%であることを考えると、A地区の満足度は37.9%と高く、不満度は12.9%と低いことが分かります。また、A地区では、交通の便に対する満足度が79.5%とかなり高く、次いで通勤・通学の便が67.2%、公園・緑地が63.4%、自然環境が56.7%と高くなっています。逆に、A地区では騒音等の公害に対する不満度が34.2%と高く、次いで医療施設の状況に対する不満度も30.9%と高くなっています。

⇒A地区では『騒音等公害に対する対策』、『医療施設の充実』が特に求められています。



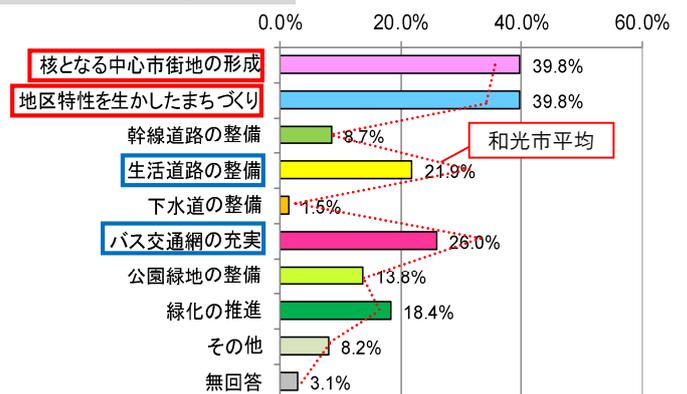
居住年数



◆A地区内の3年未満の居住者が、和光市全体(15.3%)より20.9%と高いです。逆に、20年以上の居住者は和光市全体の平均(36.1%)より、29.6%と低くなっています。

⇒A地区では、和光市全体と比べると、3年未満程の新しい居住者が多いことが分かります。

まちづくりで重要なもの

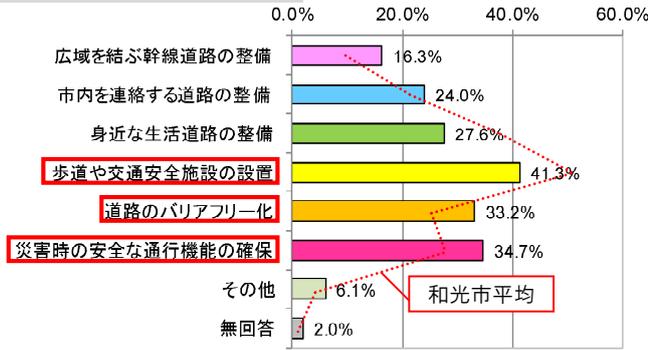


◆核となる中心市街地の形成と地区特性を生かしたまちづくりが、それぞれ39.8%と高いです。

◆生活道路の整備が、市全体の平均(30.8%)より21.9%と低く、バス交通網の充実も、市全体の平均(32.3%)より26.0%と低くなっています。

⇒A地区では特に、『中心市街地の形成』及び『地区特性を生かしたまちづくり』が求められています。

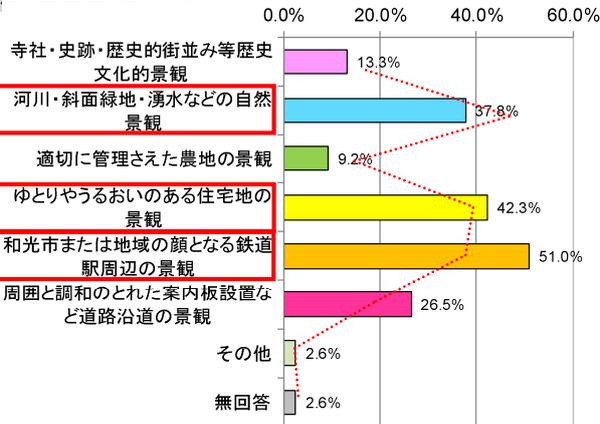
道路について強化すべき点



- ◆歩道や交通安全施設の設置が41.3%と高いです。
- ◆道路のバリアフリー化が市全体の平均(25.9%)より、33.2%と高くなっています。災害時の安全な通行機能の確保も、市全体の平均(28.4%)より、34.7%と高くなっています。

⇒A地区では特に、『歩道や交通安全施設の設置』が求められています。

景観形成に重要なもの



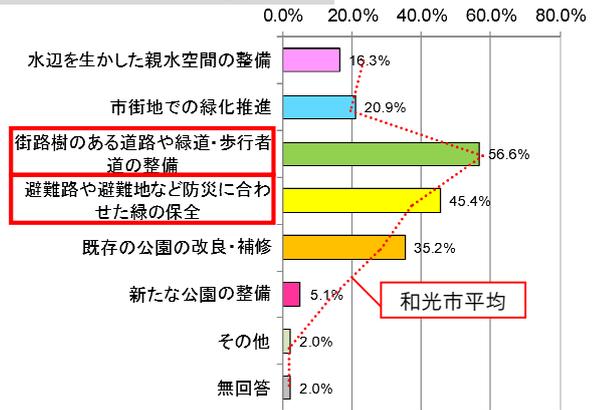
- ◆鉄道駅周辺の景観が、51.0%と一番高く、市全体の平均(38.1%)と比べても高いです。
- ◆住宅地の景観が42.3%、自然景観が37.8%とそれぞれ高くなっています。

⇒A地区では特に、『鉄道駅周辺の景観形成』が求められています。

自由回答のまとめ

自由回答	回答数
道路・交通について	
道路幅・歩道設置等により、安心して歩ける道路を作ってほしい	16
バスが利用しづらい、便数を増やしてほしい	5
交通安全施設を整備してほしい	14
自転車駐輪場・駐車場を整備、増やしてほしい	3
鉄道の利便性・安全性を高めてほしい	3
和光市駅周辺について	
和光市北口の基盤整備を進めてほしい	8
駅前発展に力を入れてほしい	3
和光市駅北口はあまり開発してほしい	0
買物環境について	
商業施設がない	4
大型商業施設がほしい	5
飲食店、カフェがほしい	4
公園・緑地について	
緑を増やし、それを維持・整備してほしい	7
子供が遊べる身近な公園がほしい	0
安心して遊べる川づくり・河川敷整備をしてほしい	0
大きな公園がほしい	1
災害時のための公園がほしい	0

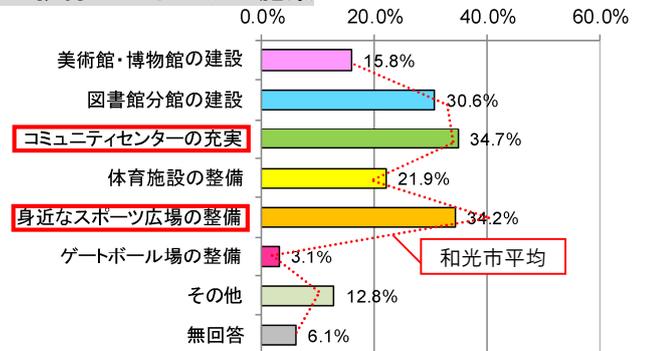
みどりのまちづくりで重要なもの



- ◆街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が、56.6%と高いです。
- ◆防災に合わせた緑の保全が、市全体の平均(36.7%)より、45.4%と高くなっています。

⇒A地区では特に、『街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備』が求められています。

文化・教育・スポーツの施策



- ◆コミュニティセンターの充実が34.7%と高くなっています。
- ◆身近なスポーツ広場の整備は34.2%と高くなっていますが、市全体の平均(40.7%)と比べると、低くなっていることが分かります。

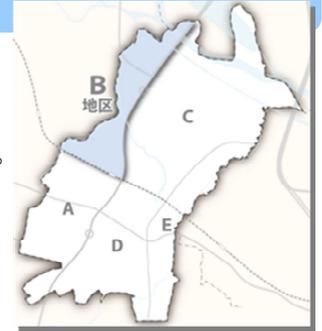
⇒A地区では特に、『コミュニティセンターの充実』が求められています。

自由回答	回答数
環境・景観について	
良好な景観づくりが必要	4
騒音、排気ガス等を改善してほしい	2
施設整備について	
スポーツ施設や美術館、プールなどの公共施設を整備してほしい	6
病院や福祉施設を作してほしい	7
図書館がほしい、本などを充実してほしい	5
児童生徒数に合った適切な学校配置が必要	1
まちづくりへの参加について	
市民の意見をまちづくりに反映してほしい	10
イベントやサークルなど交流の場を設けてほしい	2
住みよいまちづくりについて	
子育て・教育に力を入れてほしい	3
住み良い住宅地づくりが必要	3
多くの人が住みやすいまちづくりを期待する	4
安心・安全なまちにしてほしい	3
土地が少なく、高い	0
その他	
マナーの悪い人がいる	7
適切に税金を使ってほしい	4
ごみ回収日を増やしてほしい。ごみの散乱。リサイクル。	3

◆A地区回答者数：196人 ◆自由回答記入者数：72人
 ◆記入率：36.7%
 ※回答は重複するため、合計が一致しない。

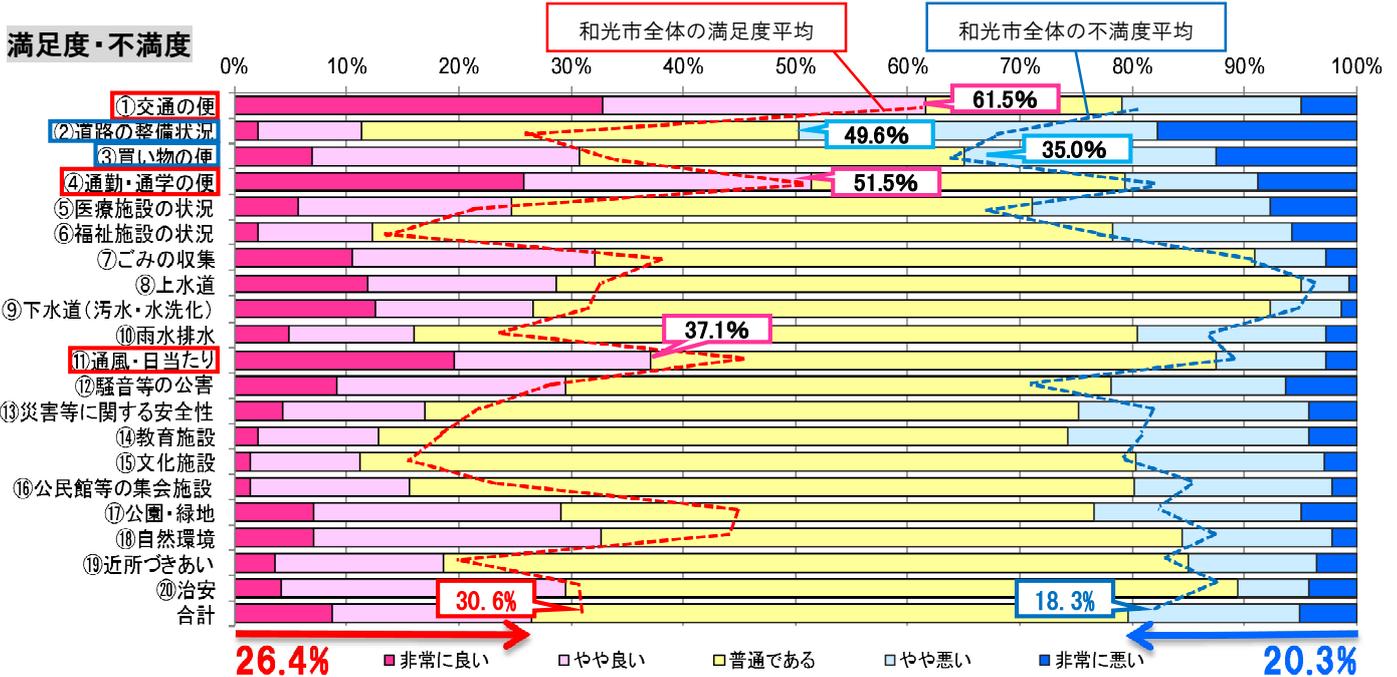
※回答数10以上を赤色で強調している。

B地区集計

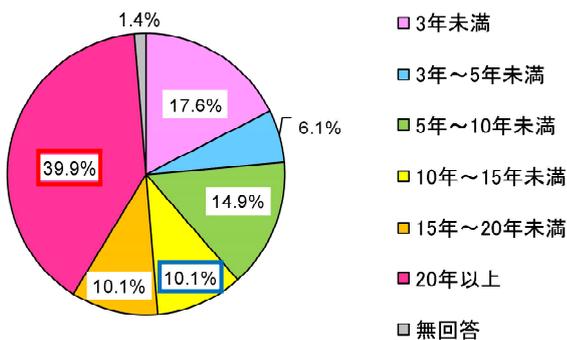


◆和光市全体の満足度が30.6%、不満度は18.3%であることを考えると、B地区の満足度は26.4%と低く、不満度は20.3%と高いことが分かります。また、B地区では、交通の便に対する満足度が61.5%と高く、次いで通勤・通学の便が51.5%、通風・日当たりが37.1%と高くなっています。逆に、B地区では道路の整備状況に対する不満度が49.6%と高く、次いで買い物の便が35.0%と高くなっています。

⇒B地区では『道路の整備状況の改善』、『買い物の便の向上』が特に求められています。



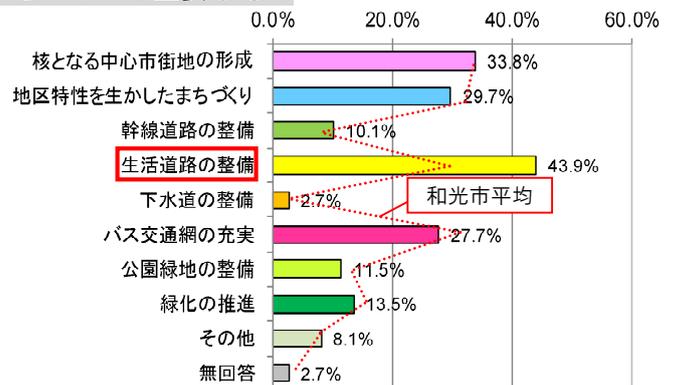
居住年数



◆B地区内の20年以上の居住者が、和光市全体の平均(36.1%)より39.9%と高いです。逆に、10年～15年未満の居住者が、和光市全体の平均(15.1%)より10.1%と低くなっています。

⇒B地区では、和光市全体と比べると、20年以上、長く住み続ける居住者が多いことが分かります。

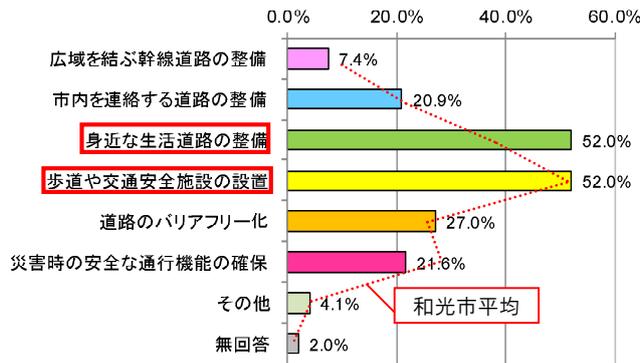
まちづくりで重要なもの



◆生活道路の整備が43.9%と高く、これは和光市全体の平均(30.8%)と比べても、とても高いことが分かります。

⇒B地区では特に、『生活道路の整備』が求められています。

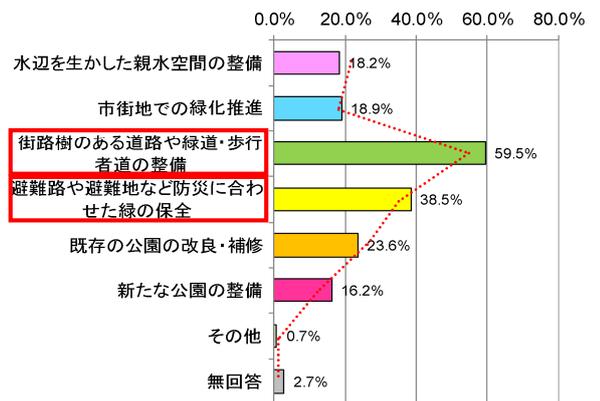
道路について強化すべき点



- ◆ 身近な生活道路の整備と歩道や交通安全施設の設置が、それぞれ**52.0%**と高くなっています。
- ◆ 特に身近な生活道路の整備は、和光市全体の平均(38.6%)よりもかなり高くなっています。

⇒B地区では特に、『**身近な生活道路の整備**』及び『**歩道や交通安全施設の設置**』が求められています。

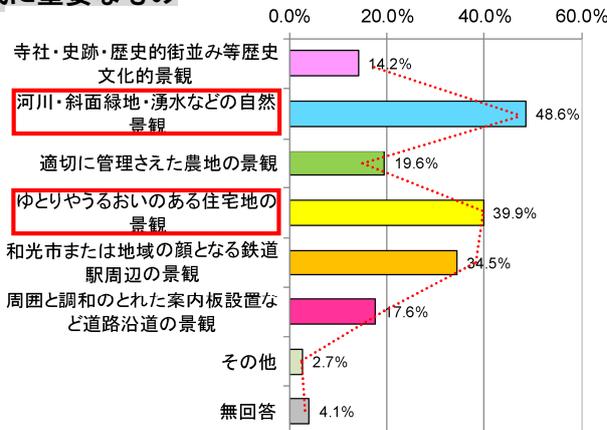
みどりのまちづくりで重要なもの



- ◆ 街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が、**59.5%**と一番高く、防災に合わせた緑の保全も、**38.5%**と高くなっています。

⇒B地区では特に、『**街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備**』が求められています。

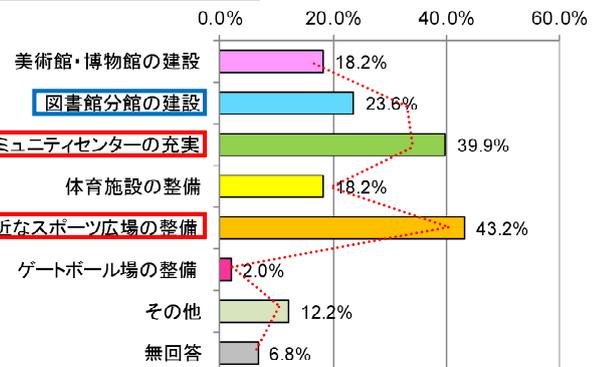
景観形成に重要なもの



- ◆ 河川・斜面緑地・湧水などの自然景観が、**48.6%**と高くなっています。
- ◆ 住宅地の景観も、**39.9%**と高いです。

⇒B地区では特に、『**河川・斜面緑地・湧水などの自然景観形成**』が求められています。

文化・教育・スポーツの施策



- ◆ 身近なスポーツ広場の整備が**43.2%**と高く、コミュニティセンターの充実も**39.9%**と高いです。
- ◆ 図書館分館の建設は、和光市全体の平均(33.4%)に比べ、**23.6%**と低くなっていることがわかります。

⇒B地区では特に、『**身近なスポーツ広場の整備**』が求められています。

自由回答のまとめ

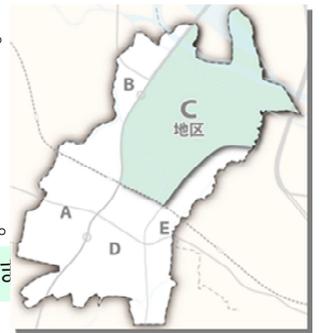
■道路・交通について	回答数	■環境・景観について	回答数
道路拡幅・歩道設置等により、安心して歩ける道路を作ってほしい	27	良好な景観づくりが必要	2
バスが利用しづらい、便数を増やしてほしい	4	騒音、排気ガス等を改善してほしい	4
交通安全施設を整備してほしい	8	■施設整備について	回答数
自転車駐輪場・駐車場を整備、増やしてほしい	5	スポーツ施設や美術館、プールなどの公共施設を整備してほしい	9
鉄道の利便性・安全性を高めてほしい	0	病院や福祉施設を作してほしい	2
■和光市駅周辺について	回答数	図書館がほしい、本などを充実してほしい	2
和光市北口の基盤整備を進めてほしい	23	児童生徒数に合った適切な学校配置が必要	3
駅前発展に力を入れてほしい	6	■まちづくりへの参加について	回答数
和光市駅北口はあまり開発してほしい	3	市民の意見をまちづくりに反映してほしい	17
■買物環境について	回答数	イベントやサークルなど交流の場を設けてほしい	4
商業施設がない	6	■住みよいまちづくりについて	回答数
大型商業施設がほしい	6	子育て・教育に力を入れてほしい	3
飲食店、カフェがほしい	3	住み良い住宅地づくりが必要	3
■公園・緑地について	回答数	多くの人が住みやすいまちづくりを期待する	3
緑を増やし、それを維持・整備してほしい	7	安心・安全なまちにしてほしい	4
子供が遊べる身近な公園がほしい	6	土地が少なく、高い	1
安心して遊べる川づくり・河川敷整備をしてほしい	2	■その他	回答数
大きな公園がほしい	2	マナーの悪い人がいる	6
災害時のための公園がほしい	0	適切に税金を使ってほしい	4
		ごみ回収日を増やしてほしい。ごみの散乱。リサイクル。	3

※回答数1.0以上を赤色で強調している...

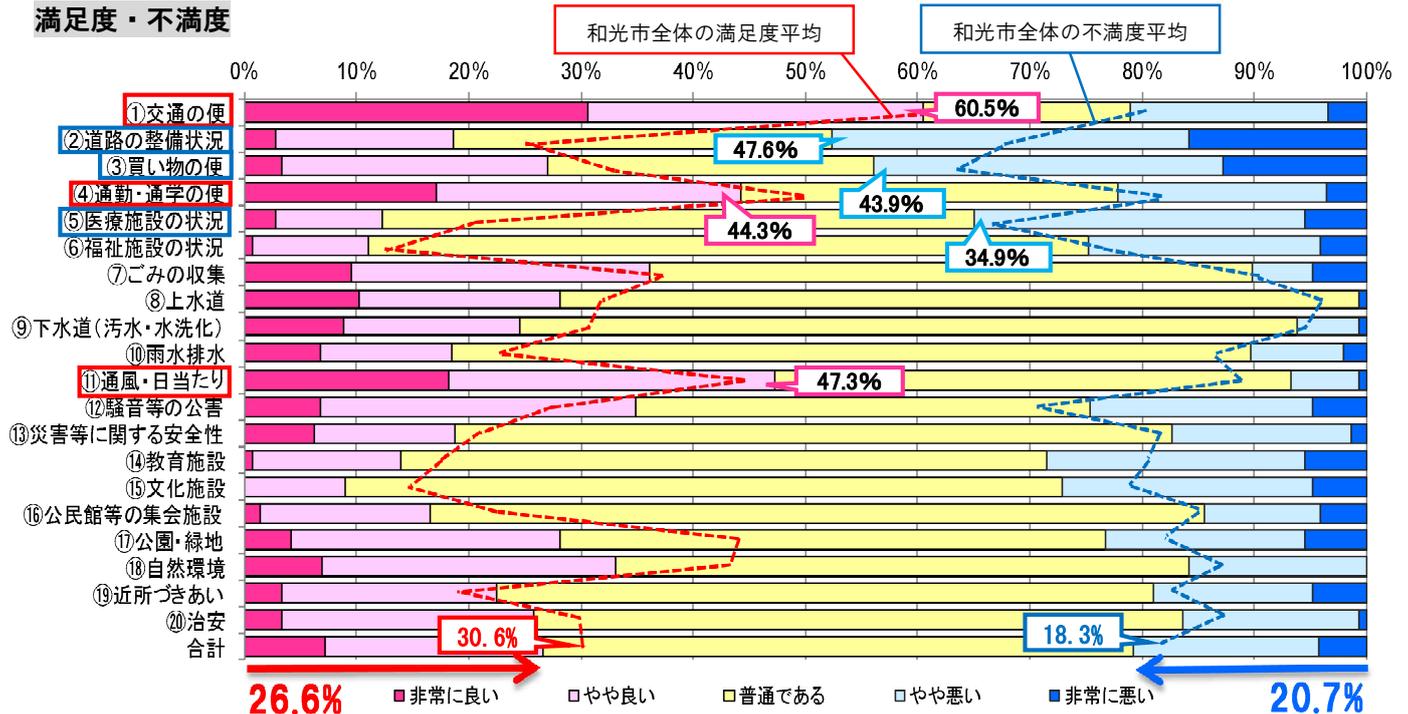
- ◆ B地区回答者数：148人 ◆ 自由回答記入者数：80人
- ◆ 記入率：54.1%
- ※回答は重複するため、合計が一致しない。

C地区集計

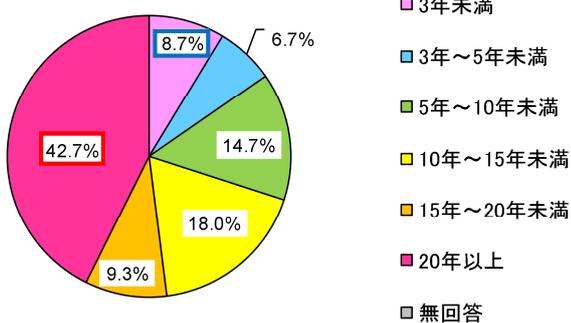
◆和光市全体の満足度が30.6%、不満度は18.3%であることを考えると、C地区の満足度は26.6%と低く、不満度は20.7%と高いことが分かります。また、C地区では、交通の便に対する満足度が60.5%と高く、次いで通風・日当たりが47.3%、通勤・通学の便が44.3%と高くなっています。逆に、C地区では道路の整備状況に対する不満度が47.6%とかなり高く、次いで買い物の便が43.9%、医療施設の状況が34.9%と高くなっています。
⇒C地区では『道路の整備状況の改善』、『買い物の便の向上』が特に求められています。



満足度・不満度



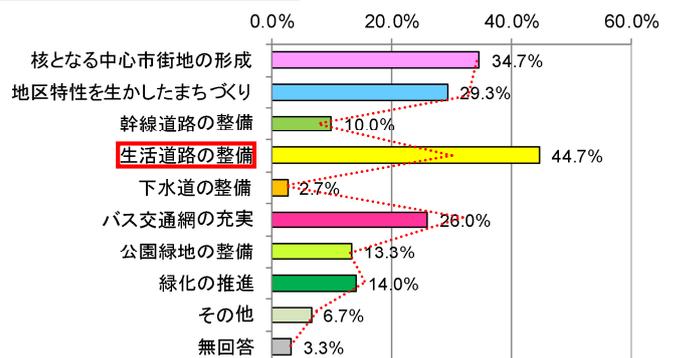
居住年数



◆C地区内の20年以上の居住者が、和光市全体の平均(36.1%)より42.7%と高いです。逆に、3年未満の居住者が、和光市全体の平均(20.9%)より8.7%とかなり低くなっています。

⇒C地区では、和光市全体と比べると、**20年以上、長く住み続ける居住者が多い**ことが分かります。

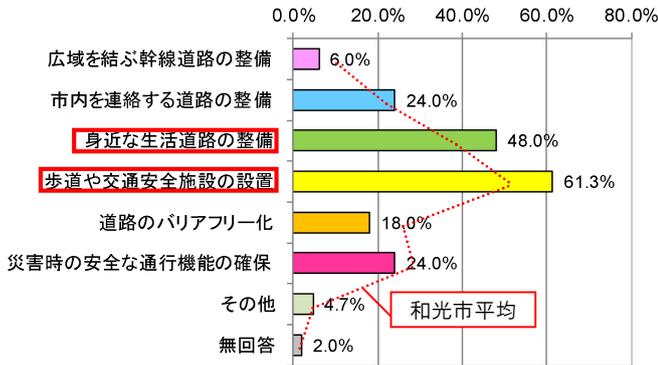
まちづくりで重要なもの



◆生活道路の整備が44.7%と高く、これは和光市全体の平均(30.8%)と比べても、とても高いことが分かります。

⇒C地区では特に、『**生活道路の整備**』が求められています。

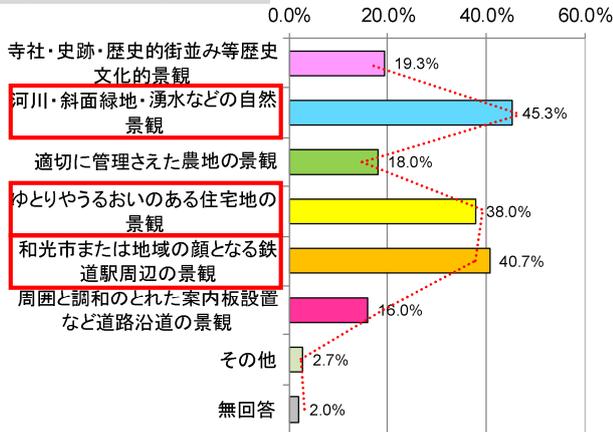
道路について強化すべき点



◆歩道や交通安全施設の設置が和光市全体の平均（51.9%）よりも、**61.3%**とかなり高くなっています。次いで、**身近な生活道路の整備**が、和光市全体の平均（38.6%）よりも、**48.0%**と、こちらもかなり高くなっています。

⇒C地区では特に、『歩道や交通安全施設の設置』が求められています。

景観形成に重要なもの



◆自然景観が、**45.3%**と高いです。次いで、**鉄道駅周辺の景観**が、**40.7%**と高くなっています。**住宅地の景観**も、**38.0%**と高いです。

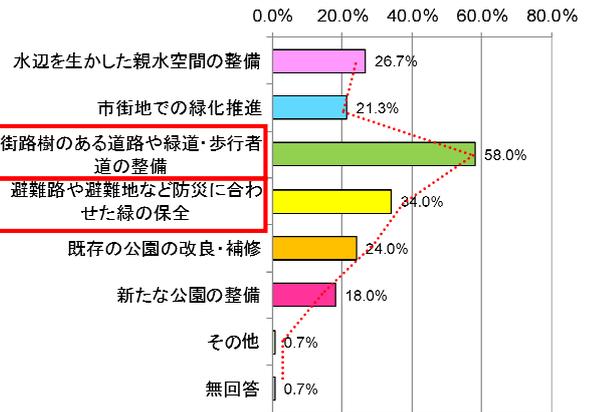
⇒C地区では特に、『河川・斜面緑地・湧水などの自然景観形成』が求められています。

自由回答のまとめ

自由回答	回答数
道路・交通について	
道路拡幅、歩道設置等により、安心して歩ける道路を作ってほしい	26
バスが利用しづらい、便数を増やしてほしい	7
交通安全施設を整備してほしい	9
自転車駐輪場・駐車場を整備、増やしてほしい	1
鉄道の利便性・安全性を高めてほしい	5
和光市駅周辺について	
和光市北口の基盤整備を進めてほしい	10
駅前の発展に力を入れてほしい	4
和光市駅北口はあまり開発してほしい	0
買物環境について	
商業施設がない	7
大型商業施設がほしい	3
飲食店、カフェがほしい	3
公園・緑地について	
緑を増やし、それを維持・整備してほしい	6
子供が遊べる身近な公園がほしい	18
安心して遊べる川づくり・河川敷整備をしてほしい	3
大きな公園がほしい	0
災害時のための公園がほしい	1

◆C地区回答者数：150人 ◆自由回答記入者数：72人
◆記入率：48.0%
※回答は重複するため、合計が一致しない。

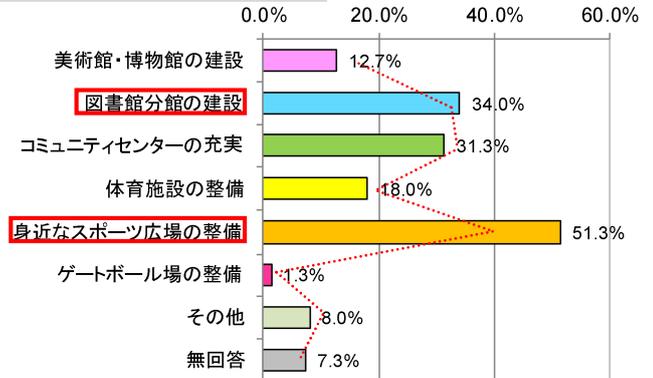
みどりのまちづくりで重要なもの



◆街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が、**58.0%**と高いです。
◆防災に合わせた緑の保全も、**34.0%**と高くなっています。

⇒C地区では特に、『街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備』が求められています。

文化・教育・スポーツの施策



◆身近なスポーツ広場の整備が、**51.3%**と一番高く、これは和光市全体の平均（40.7%）と比べてもかなり高くなっていることがわかります。次いで、**図書館分館の建設**が**34.0%**と高くなっています。

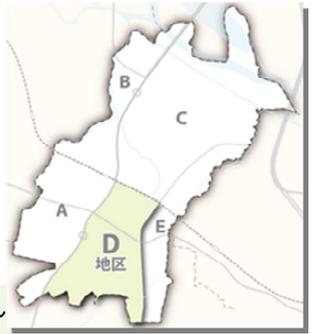
⇒C地区では特に、『身近なスポーツ広場の整備』が求められています。

自由回答	回答数
環境・景観について	
良好な景観づくりが必要	3
騒音、排気ガス等を改善してほしい	1
施設整備について	
スポーツ施設や美術館、プールなどの公共施設を整備してほしい	6
病院や福祉施設を作してほしい	0
図書館がほしい、本などを充実してほしい	4
児童生徒数に合った適切な学校配置が必要	2
まちづくりへの参加について	
市民の意見をまちづくりに反映してほしい	12
イベントやサークルなど交流の場を設けてほしい	3
住みよいまちづくりについて	
子育て・教育に力を入れてほしい	6
住み良い住宅地づくりが必要	9
多くの人が住みやすいまちづくりを期待する	2
安心・安全なまちにしてほしい	2
土地が少なく、高い	0
その他	
マナーの悪い人がいる	3
適切に税金を使してほしい	3
ごみ回収日を増やしてほしい。ごみの散乱。リサイクル。	2

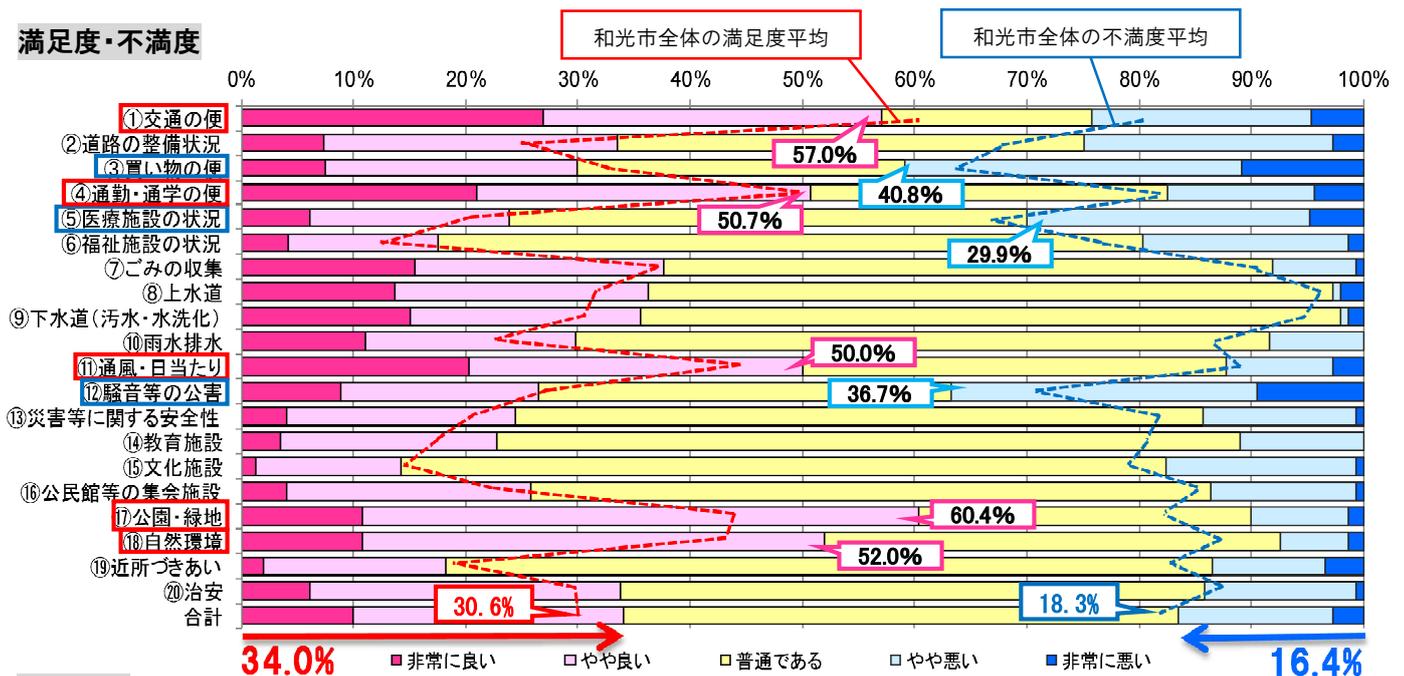
※回答数10以上を赤色で強調している。

D 地区集計

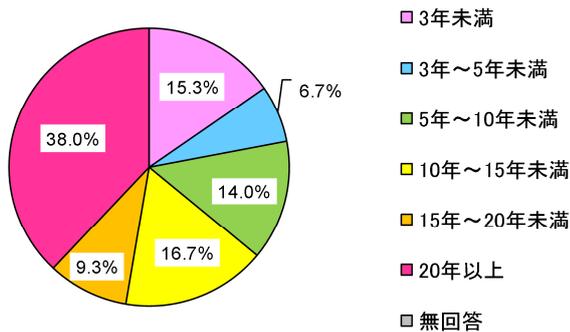
- ◆和光市全体の満足度が30.6%、不満度は18.3%であることを考えると、D地区の満足度は34.0%と高く、不満度は16.4%と低いことが分かります。また、D地区では、公園・緑地に対する満足度が60.4%とかなり高く、次いで交通の便が57.0%、自然環境が52.0%、通勤・通学の便が50.7%、通風・日当たりが50.0%と高くなっています。逆に、D地区では買い物の便に対する不満度が40.8%と高く、次いで騒音等の公害が36.7%、医療施設の状況が29.9%と高くなっています。
- ⇒D地区では『買い物の便の向上』、『騒音等公害に対する対策』が特に求められてい



満足度・不満度



居住年数

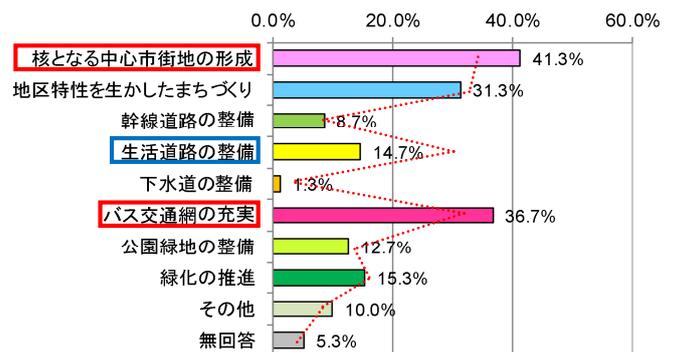


- ◆D地区内の20年以上の居住者は市全体の平均(36.1%)より、38.0%と高く、5～10年未満の居住者は市全体の平均(17.5%)よりも、14.0%と低いです。

- ◆D地区の居住者は全体的に、それぞれの和光市全体の平均とほぼ同じ割合です。

⇒D地区では、和光市全体と比べても、居住者の傾向は**ほぼ同じ**です。

まちづくりで重要なもの

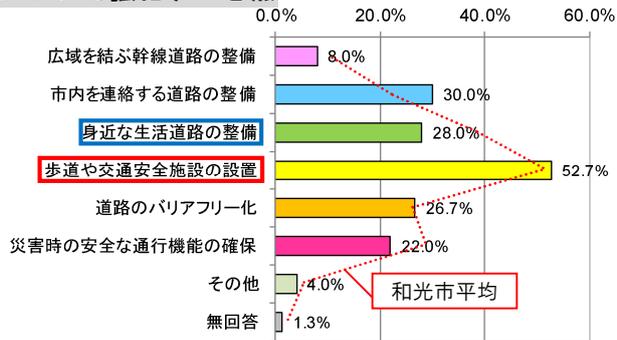


- ◆中心市街地の形成が市全体の平均(34.9%)よりも、41.3%と高いです。次いで、バス交通網の充実も市全体の平均(32.3%)より、36.7%と高くなっています。

- ◆生活道路の整備は市全体平均(30.8%)よりも、14.7%とかなり低くなっています。

⇒D地区では特に、『核となる中心市街地の形成』が求められています。

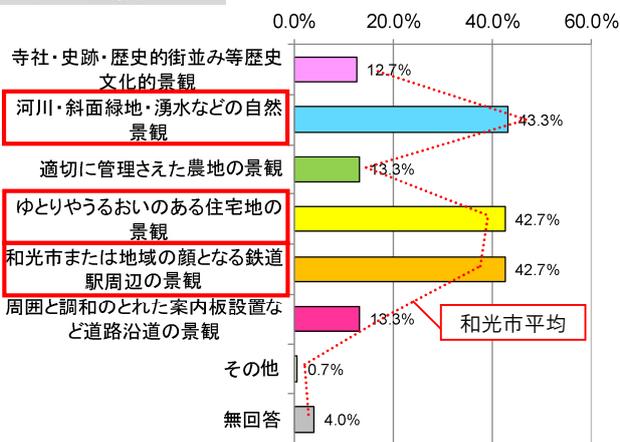
道路について強化すべき点



- ◆歩道や交通安全施設の設定が、52.7%と高くなっています。
- ◆身近な生活道路の整備は、和光市全体の平均(38.6%)よりも、28.0%とかなり低くなっていることが分かります。

⇒D地区では特に、『歩道や交通安全施設の設定』が求められています。

景観形成に重要なもの



- ◆河川・斜面緑地・湧水などの自然景観が、43.3%と高いです。次いで、鉄道駅周辺の景観、住宅地の景観が共に42.7%と高くなっています。

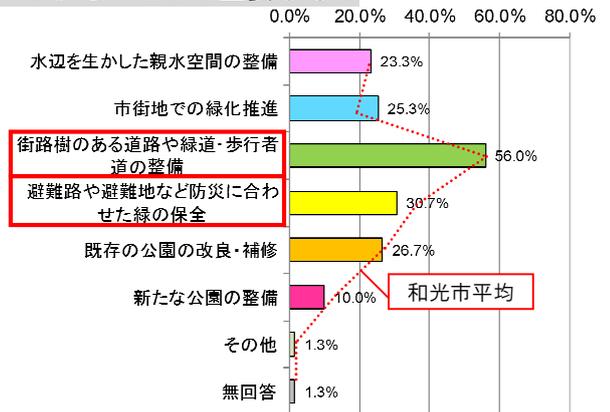
⇒D地区では特に、『河川・斜面緑地・湧水などの自然景観形成』が求められています。

自由回答のまとめ

自由回答	回答数	自由回答	回答数
■道路・交通について		■環境・景観について	
道路拡幅・歩道設置等により、安心して歩ける道路を作ってほしい	9	良好な景観づくりが必要	1
バスが利用しづらい、便数を増やしてほしい	5	騒音、排気ガス等を改善してほしい	1
交通安全施設を整備してほしい	4		
自転車駐輪場・駐車場を整備、増やしてほしい	5	■施設整備について	
鉄道の利便性・安全性を高めてほしい	2	スポーツ施設や美術館、プールなどの公共施設を整備してほしい	7
		病院や福祉施設を作してほしい	4
■和光市駅周辺について		図書館がほしい、本などを充実してほしい	3
和光市北口の基盤整備を進めてほしい	3	児童生徒数に合った適切な学校配置が必要	3
駅前発展に力を入れてほしい	1		
和光市駅北口はあまり開発してほしいくない	0	■まちづくりへの参加について	
		市民の意見をまちづくりに反映してほしい	13
■買物環境について		イベントやサークルなど交流の場を設けてほしい	1
商業施設がない	9		
大型商業施設がほしい	8	■住みよいまちづくりについて	
飲食店、カフェがほしい	1	子育て・教育に力を入れてほしい	6
		住み良い住宅地づくりが必要	3
■公園・緑地について		多くの人が住みやすいまちづくりを期待する	3
緑を増やし、それを維持・整備してほしい	7	安心・安全なまちにしてほしい	6
子供が遊べる身近な公園がほしい	4	土地が少なく、高い	1
安心して遊べる川づくり・河川敷整備をしてほしい	2		
大きな公園がほしい	1	■その他	
災害時のための公園がほしい	0	マナーの悪い人がいる	4
		適切に税金を使ってほしい	4
		ごみ回収日を増やしてほしい。ごみの散乱、リサイクル。	2

◆D地区回答者数：150人 ◆自由回答記入者数：59人
◆記入率：39.3%
※回答は重複するため、合計が一致しない。

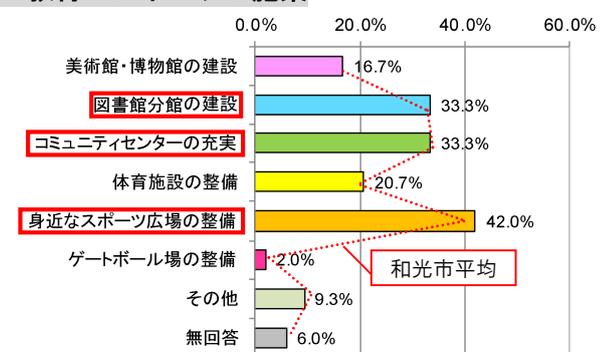
みどりのまちづくりで重要なもの



- ◆街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が、56.0%と高く、防災に合わせた緑の保全も、30.7%と高くなっています。

⇒D地区では特に、『街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備』が求められています。

文化・教育・スポーツの施策



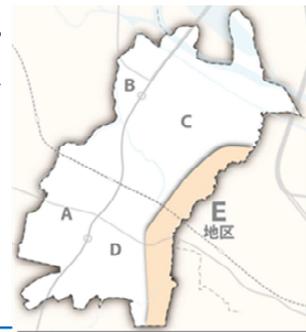
- ◆身近なスポーツ広場の整備が、42.0%と高いです。
- ◆図書館分館の建設とコミュニティセンターの充実が、それぞれ33.3%と高くなっています。

⇒D地区では特に、『身近なスポーツ広場の整備』が求められています。

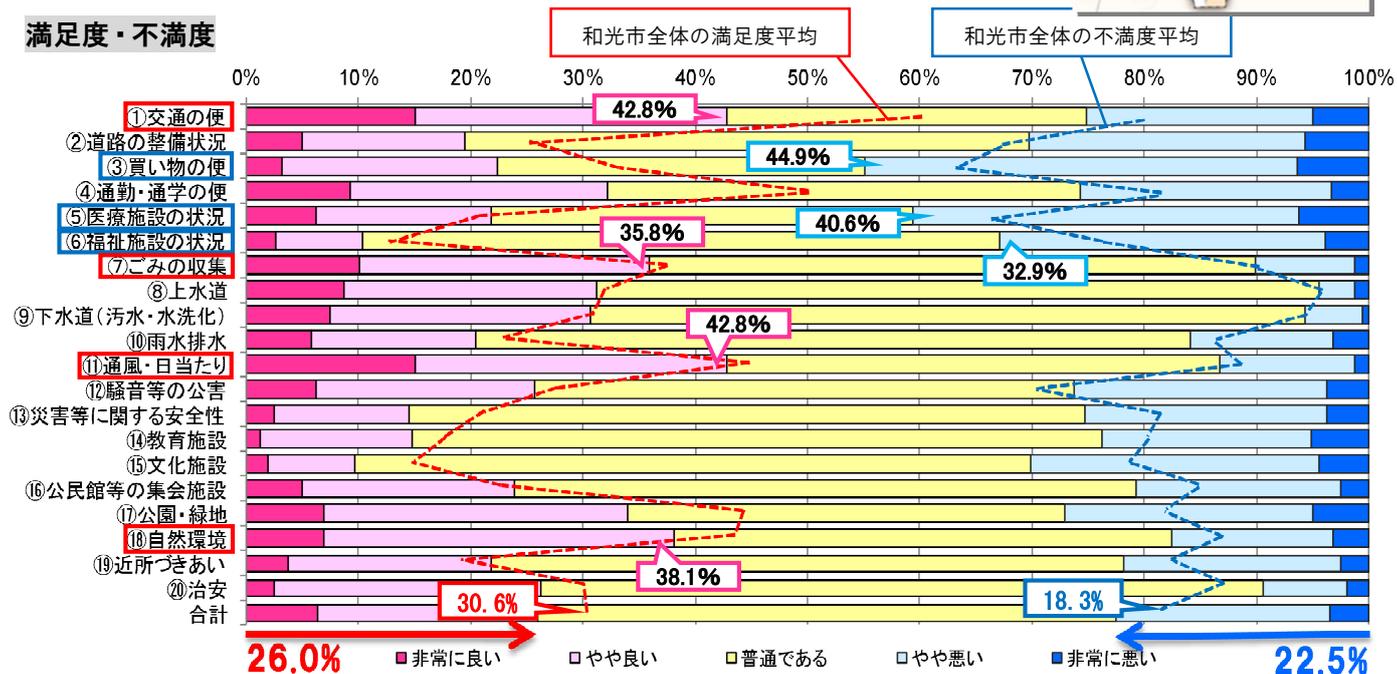
※回答数10以上を赤色で強調している。

E 地区集計

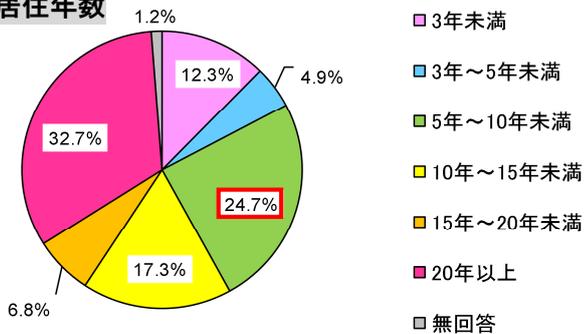
◆和光市全体の満足度が30.6%、不満度は18.3%であることを考えると、E地区の満足度は26.0%と低く、不満度は22.5%と高いことが分かります。また、E地区では、交通の便、通風・日当たりに対する満足度が42.8%と高く、次いで自然環境が38.1%、ごみの収集が35.8%と共に高くなっています。逆に、E地区では買い物の便に対する不満度が44.9%と高く、次いで医療施設の状況が40.6%、福祉施設の状況が32.9%と高くなっています。
⇒E地区では『買い物の便の向上』、『医療施設の充実』が求められています。



満足度・不満度



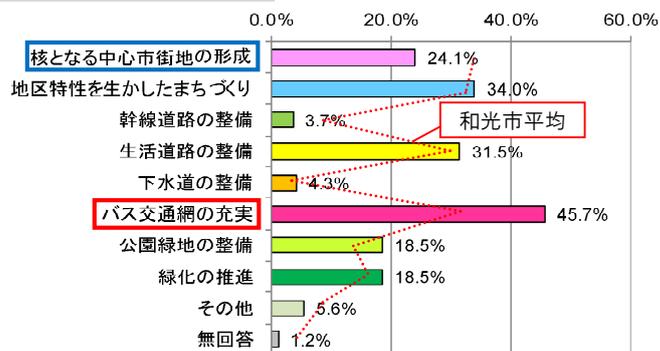
居住年数



◆E地区内では、5~10年未満の居住者が、和光市全体の平均(17.5%)よりも、24.7%と高いです。

⇒E地区では、和光市全体と比べると、5~10年未満の居住者が多いことが分かります。

まちづくりで重要なもの

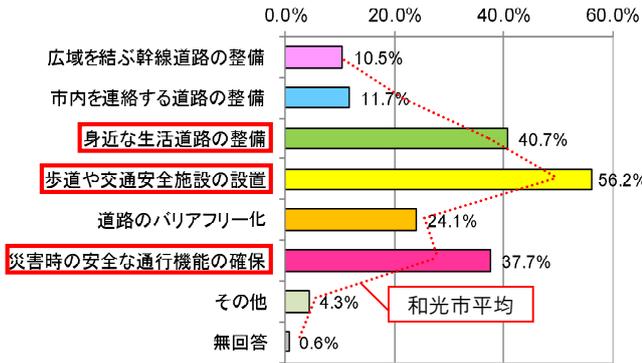


◆バス交通網の充実が、和光市全体の平均(32.3%)よりも、45.7%とかなり高いです。

◆核となる中心市街地の形成が和光市全体の平均(34.9%)より、24.1%と、とても低くなっています。

⇒E地区では特に、『バス交通網の充実』が求められています。

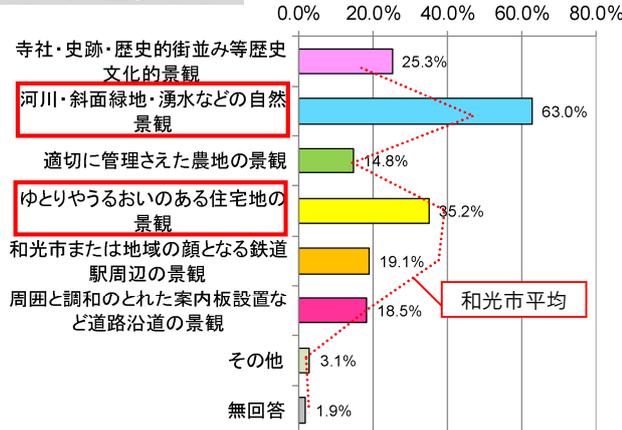
道路について強化すべき点



- ◆歩道や交通安全施設の設置が56.2%と高く、次いで身近な生活道路の整備が40.7%と高くなっています。
- ◆災害時の安全な通行機能の確保が和光市全体の平均(28.4%)より、37.7%とかなり高くなっています。

⇒E地区では特に、『歩道や交通安全施設の設置』が求められています。

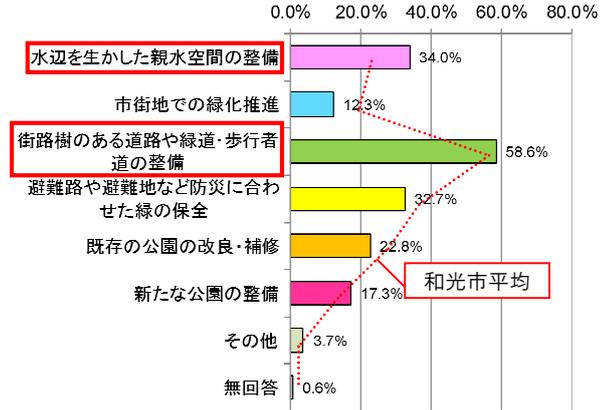
景観形成に重要なもの



- ◆自然景観が、市全体の平均(47.3%)より、63.0%とかなり高いです。次いで、住宅地の景観が35.2%と高くなっています。

⇒E地区では特に、『河川・斜面緑地・湧水などの自然景観形成』が求められています。

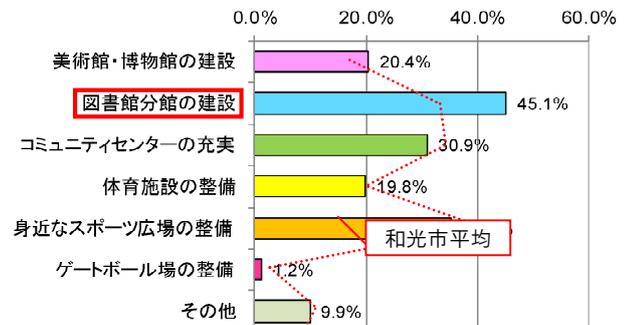
みどりのまちづくりで重要なもの



- ◆街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備が、58.6%と高いです。
- ◆水辺を生かした親水空間の整備が、和光市全体の平均(23.4%)よりも、34.0%とかなり高くなっています。

⇒E地区では特に、『街路樹のある道路や緑道・歩行者道の整備』が求められています。

文化・教育・スポーツの施策



- ◆図書館分館の建設が和光市全体の平均(33.4%)より、45.1%とかなり高いです。
- ◆身近なスポーツ広場の整備も、35.2%と高くなっています。

⇒E地区では特に、『図書館分館の建設』が求められています。

自由回答のまとめ

■道路・交通について	回答数	■環境・景観について	回答数
道路幅員・歩道設置等により、安心して歩ける道路を作ってほしい	21	良好な景観づくりが必要	0
バスが利用しやすい、便数を増やしてほしい	15	騒音、排気ガス等を改善してほしい	0
交通安全施設を整備してほしい	3		
自転車駐輪場・駐車場を整備、増やしてほしい	1	■施設整備について	回答数
鉄道の利便性・安全性を高めてほしい	1	スポーツ施設や美術館、プールなどの公共施設を整備してほしい	10
		病院や福祉施設を作してほしい	5
		図書館がほしい、本などを充実してほしい	3
		児童生徒数に合った適切な学校配置が必要	2
		■まちづくりへの参加について	回答数
		市民の意見をまちづくりに反映してほしい	9
		イベントやサークルなど交流の場を設けてほしい	2
		■住みよいまちづくりについて	回答数
		子育て・教育に力を入れてほしい	5
		住みよい住宅地づくりが必要	3
		多くの人が住みやすいまちづくりを期待する	5
		安心・安全なまちにしてほしい	1
		土地が少なく、高い	0
		■その他	回答数
		マナーの悪い人がいる	5
		適切に税金を使ってほしい	6
		ごみ回収日を増やしてほしい。ごみの散乱。リサイクル。	2

※回答数10以上を赤色で強調している。

- ◆E地区回答者数：162人 ◆自由回答記入者数：79人
- ◆記入率：48.8%
- ※回答は重複するため、合計が一致しない。